DENON

PROFESSIONAL MEDIA PLAYER & CONTROLLER

DN-HS5500

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Manuel de l'Utilisateur

Manuale delle istruzioni

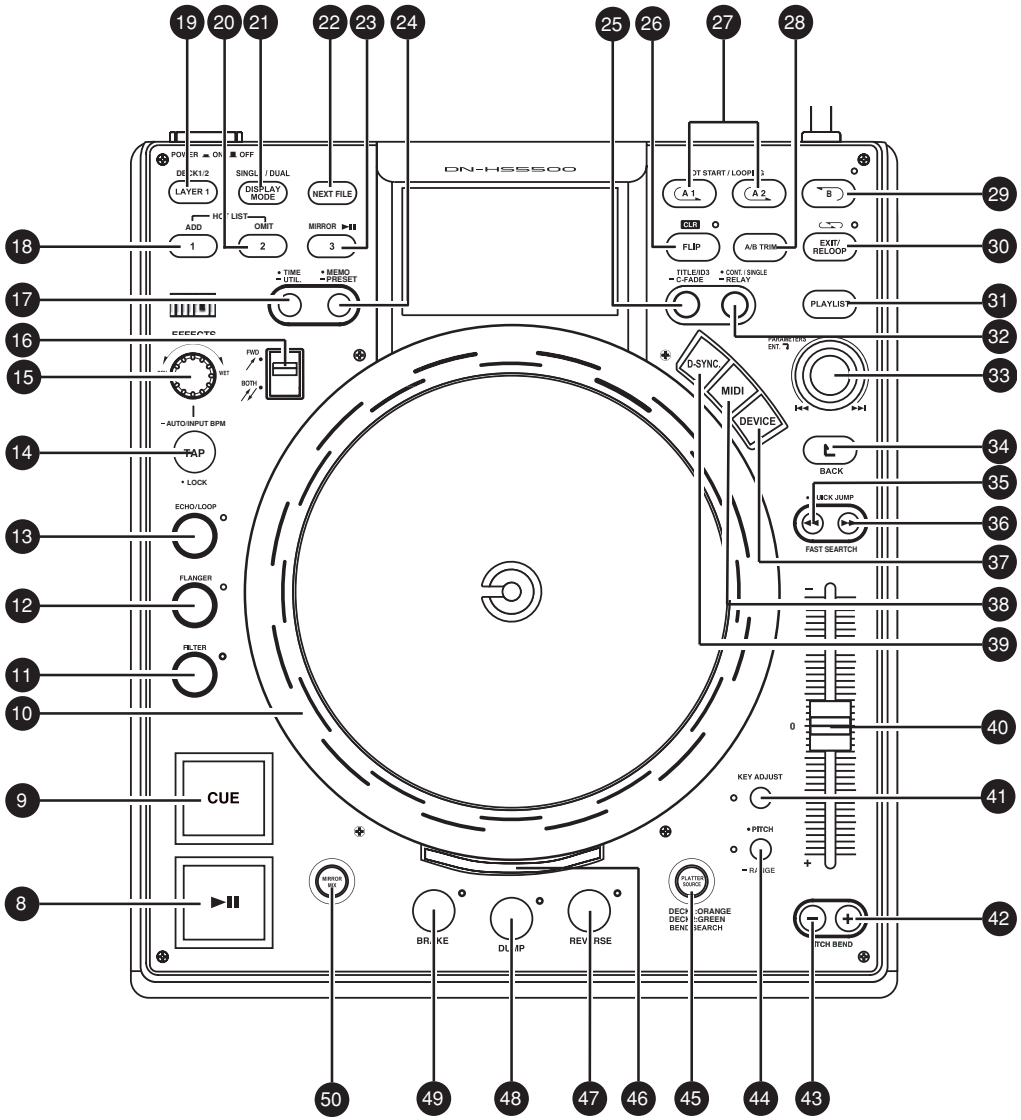
Manual del usuario

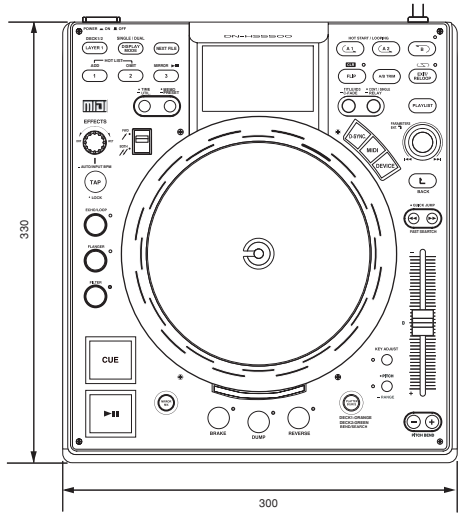
Bruksanvisning

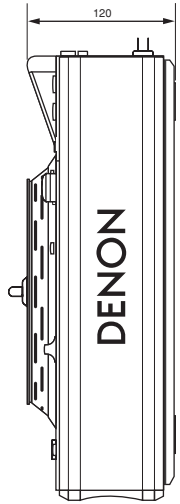
取扱説明書

操作说明书

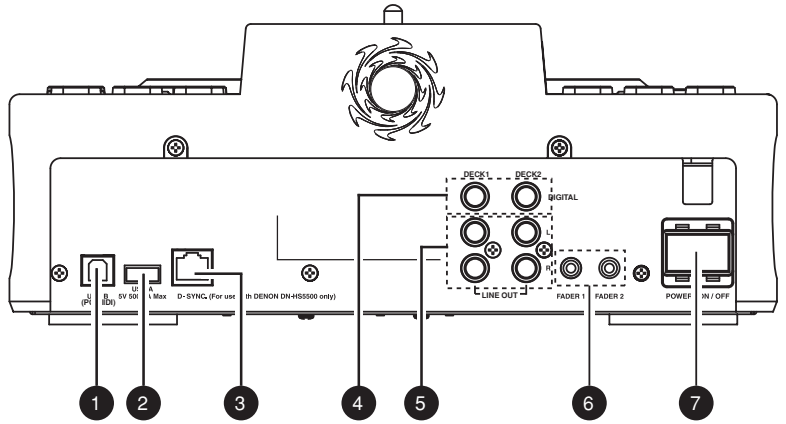
TOP PANEL DIAGRAM / ÜBERSICHT AUF DER SCHALTTAFEL OBEN / SCHEMA DU PANNEAU SUPERIEUR / ILLUSTRAZIONE PANNELLO SUPERIORE / DIAGRAMA DEL PANEL SUPERIOR / ÖVERSIKT ÖVER TOPPANELEN / トップパネル / 顶面板视图







REAR PANEL DIAGRAM / HINTERES ANSCHLUSSFELD-SCHEMA / SCHEMA DU PANNEAU ARRIERE / SCHEMA PANNEAU ARRIERE / DIAGRAMA DEL PANEL POSTERIOR / BAKPANELEN / リアパネル / 后面板视图



Unit:	mm
Gerät:	mm
Unité:	mm
Unità:	mm
Unidad:	mm
Enhet:	mm
単位:	mm
单位:	mm

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

こ内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となります。

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

オーディオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

結露現象について

■結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■結露後の処置は

- 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。
- ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

FMやAM放送を受信している場合

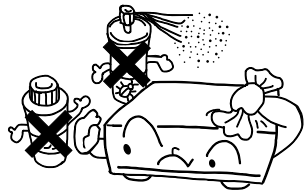
■FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

お手入れについて

■キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



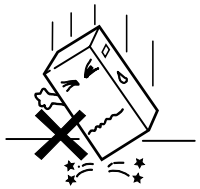
使わないときは

■ふだん使わないとき

- 必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■移動させるとき

- 衝撃を与えないでください。
- 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



－ 目 次 －

1 主な特長 2
2 プラッター、スクラッチディスクおよびスリップマットの取り付け 3
3 接続および設置のしかた ..... 4、5
4 各部の名前とはたらき ..... 6～9
5 電源を入れる 9
6 ファイルを選ぶ ..... 10～14
7 基本操作 ..... 14、15
8 ネクストファイル機能 16
9 スクラッチ 17
10 シームレスループ/ホットスタート/スタッター ..... 17、18
11 A/Bトリム 18
12 オートBPM、エフェクター ..... 19、20
13 プラッターエフェクト 21
14 2 Decks in 1 22
15 ミラーミックス 23
16 D-SYNC機能について ..... 23、24
17 メモ機能（カスタムセッティングメモリー） 25
18 文字入力について 26
19 ユーティリティー ..... 27～33
20 プリセット 34
21 互換性ファイル 35
22 保証とサービスについて 35
23 主な仕様 36

• 付属品に付いて

梱包箱の中には、本体とは別に下記の付属品が入っています。
ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書	1
② CD-ROM	1
③ ピンプラグコード（RCA）	2
④ USBケーブル	1

1 主な特長

特長

• 2台のプレーヤーを搭載
DN-HS5500の大きな特長の一つは、1台で2台のプレーヤーのように操作できることです。それぞれ独立したオーディオ出力を持つDeck1とDeck2を簡単なボタン操作で切り替えることができるDN-HS5500には2台分の能力と創造性が秘められています。
それぞれのDeckは全ての機能を独立して利用できるだけでなく、接続されているデバイスやミュージックライブラリを共用することもできます。

• ブラシレスダイレクトドライブモーターによるターンテーブルを搭載
12極ダイレクトドライブブラシレスモータはデノンの110年間で培った技術を盛り込み、0.5秒以内で定速度に立ち上がる2.5kg-cmの高起動トルクを有しています。このためDJはアナログターンテーブルと同じ操作感を得ることができます。ターンテーブルは33rpmと45rpmに切り替えることができます。

• ハードディスクドライブ/CDドライブをオプション設定
オプションのスリムタイプCDドライブ（BU5501）またはハードディスクドライブ取り付けキット（BU5502）＋2.5インチのハードディスクドライブ*（BU5503）をDN-HS5500に組み込むことにより、内蔵再生デバイスのひとつとして利用できます。
DJは2台のDN-HS5500にこれら2つのオプションを装着することで、さまざまなメディアに対応したDJシステムを持つことができます。
*パラレルATAタイプのみ対応

• 外部USBデバイスのサポート
DN-HS5500は、複数の外付けUSBデバイス（マスストレージクラス）をUSB2.0のハブを経由してサポートします。（ハブは別売）iPod、USBフラッシュメモリや大容量のUSBハードディスクドライブを接続するとこれらに保存されているmp3/wavのファイルを利用できます。これらのデバイスをDN-HS5500に接続することにより本機に搭載されている機能、（例えばインスタントスタート、シームレスルーピング、スクラッチ、ファイルサーチやその他の機能）が利用できます。
*一度に4個のマスストレージデバイスを接続できます。
*iPodはマスストレージクラスのみのサポートとなります。

• MIDIインターフェース＆コントローラ
DN-HS5500はメディアプレーヤーであると同時に、MIDI対応のDJソフトウエアのオーディオインターフェースやコントローラとして機能します。好みのDJソフトウエアをコントロールする機能と、ハードディスクドライブに保存されている何千、何万という楽曲ファイルを再生する機能により、完全なバックアップシステムを実現できます。
*対応OS：MacOSX10.4またはそれ以上、Windows XP SP2?

• USB AUDIO インターフェース
現在、市場のほとんどのDJ向けMIDIコントローラはサウンドカードを内蔵していません。DN-HS5500は自身にUSBオーディオインターフェース（サウンドボード）を内蔵しています。これによりサウンドボードの選択の煩わしさや追加の出費がありません。内蔵されたシリーズ電源により最適な電気特性が与えられ、優れたオーディオ特性を実現しています。また、より忠実な音声再生のため、バーブラウン社（製造はTI社）の24bit DACを搭載しています。
USBオーディオのインターフェースは2組のステレオアウトプットを持ち、44.1KHzのサンプリングレートで低レイテンシのASIO/OSX CORE AUDIvOをサポートしています。

• D-Sync.
2台のDN-HS5500を1本のRJ45ケーブルで接続することにより、一方をマスタープレーヤー、他方をリモートプレーヤーとして操作することができます。D-Sync中はリモートプレーヤー側でもマスタープレーヤー側に接続されている全てのデバイスが利用できます。

• 5種類のDSPエフクト
ダンスフロアやライブのムードを作り上げることは、内蔵エフェクトを使用することで簡単にできます。エフェクトは簡単に起動でき、Dry/Wetやパラメータが調整が可能です。内蔵エフェクトは以下のとおりです。フランジャー、フィルター（High-Mid-Low）、エコー、エコールーブ、テイルエコー

• 3種類のプラッターエフェクト
・ブレーキ（リアルタイムに調整可能）
・ダンプ（リバース再生の応用。リバースした時間分進んでから通常再生に戻る）
・リバース（音楽を逆転再生する。同時にプラッターも逆回転する。）

• ミラーミックス
デノン独自のミラーミックス機能は、Deck1と同じ楽曲を指定時間分（1/8、1/4、1/2、3/4、1/1、2/1 BPM）遅らせてDeck2から音声出力するエフェクト機能です。
これにより、ビートジャグリング（＝2枚使い）のトリックプレイを1台のDN-HS5500で可能にしました。
また、スクラッチ/リバース/ダンプ再生などにも対応しています。

• 3.8インチ大型ディスプレー
この高輝度のLCDには、ユーザがマニュアルを読まなくても最初から直感的に操作できるようアイコンやパラメータが表示されます。
また、このディスプレーのスクリーンを2分割して同時にDeck1とDeck2のモニター表示をするモード（Dual）と、画面全体にどちらか一方のデッキのモニター表示をするモード（Single）があります。

• ピッチレンジとピッチの分解能
ロングミックスするDJには高精度のピッチ分解能が要求されます。DN-HS5500ではピッチレンジが4%では0.02%、10～16%では0.05%の分解能を実現しています。もちろん24%/50%/100%のピッチレンジも利用できます。
*100mmのロングストロークのピッチスライダーを使用しているため、滑らかなミキシングができます。

• キーボードのサポートとファイル検索
DN-HS5500は3タイプ（Qwerty, Qwertz, Azerty）、9ヶ国語のUSBキーボードをサポートしています。これにより楽曲検索（アーチスト検索、アルバム検索、タイトル検索、ジャンル検索、年代検索、BPM検索、ファイルネーム検索、ホルダー検索）がより簡単になります。更に、ショートカットキーは種々の機能やLatin-1のキャラクター検索に利用できます。

• プレイリストの作成とホットリスト
プレイリスト機能は、プレイリストの作成、編集と3種類の異なるプレイリストカテゴリー（Top 40, Favorite, You Own Custom list）への保存ができます。ホットリストは、パーティの最中にいたるところで寄せられるリクエストや楽曲を保存しておくプレイリストです。
一度その楽曲が再生されると、その楽曲にチェックマークが付き、再生済みであることを表します。

キーアジャスト:
キーアジャスト機能は、再生スピードを調整しても、本来のボーカルや楽器の音のキーを維持します。

• ホットスタートとシームレスループ:
2つのホットスタート（A1とA2）は簡単に設定でき、直ぐにシームレスループに入ることができます。ホットスタートはスタッターポイントとしても使用することができます。

• Loop A/B Trim
シームレスループをするためのAまたはB点を簡単に調整することができます。

• メモ機能
キューポイント、BPM、ピッチのセッティング゛とレンジ、ピッチのON/OFF、キーアジャストのON/OFFやシームレスループのAとBの各データを後で呼び出し可能なようにファイルへ直接記録します。

• クロスフェード付きネクストファイル機能
再生を止めることなく次の楽曲を様々な方法で検索でき、ユーザの操作で検索した次の楽曲へシームレスにクロスフェードします。
*クロスフェード時間はユーザが調整します。

• 楽曲ファイルのインポート/エクスポート
内蔵のハードディスクドライブ（オプション装着時）やその他の接続されているUSBデバイスに楽曲ファイルのインポートやエクスポートができます。

• マルチファンクションプラッターモード
Deck1/2で以下の機能が選択できます:
・スクラッチ
・ピッチベンド
・フレームサーチ

• 4種類のBPMカウンター
・オートビートカウンター
・マニュアルTAP入力
・マニュアルBPM入力
・MP3/WAV BPMメタデータ（ID3tagにデータベンドフェーダーがあった場合）

• ディレクショナルスクラッチレバー
デノンオリジナルの機能。従来の両方向スクラッチは勿論、フォワードのみを選択した場合はミキサーのクロスフェーダによるカット操作と同じパフォーマンスを生み出します。

• リレープレー
リレープレーはDeck1/Deck2間または二つのプレーヤー間で可能です。

• 3種類のピッチベンド（スクラッチディスク、ベンドボタン、またはターンテーブルを直接触る）

• クイックジャンプ/ビートジャンプ
素早く簡単にサーチができます。トラックやファイルの中でクイックジャンプ機能を使用すると、ユーザが設定した時間、例えば10秒間隔で移動できます。ビートジャンプは規定のBPM値、例えば8ビート間隔で移動できます。

• 2種類のCUE方式
従来のデノンのCUE方式に加え、他の一般的なCUE方式もサポートしています。

• インサタントスタート（0.02秒）

• スタート（すべてのデノンのミキサーで使用可能）

• デジタル出力

• ソフトウエアはUSBでアップグレード可能
DENON DJは、ユーザからの貴重なフィードバックに基づき、随時、現在の機能に細かな改良を施したり、新たな機能を追加したりしています。これらの新たなプラグインはいつも無料で以下のウエブサイトから入手が可能です。
www.denondj.com

2 プラッター、スクラッチディスクおよびスリップマットの取り付け

(1) プラッター、スクラッチディスクおよびスリップマットの取り付け

• 付属品について

① プラッター	1
② スクラッチディスク	1
③ スリップマット	1
④ アダプター (1)	1
⑤ 十字穴付きネジ	2

1. プラッターをモーターのテーパーボスに挿入し、装着します。
2. プラッターの上にスリップマットを置きます
3. スクラッチディスクをモーターの軸のD形状に合わせて挿入します。
   ご注意: スクラッチディスクの溝印刷されている面をスリップマット面に接触するようにしておいてください。
4. アダプター（1）を図2の矢印の方向に押し込み、上より付属の十字穴付きネジ*2本で取り付けます。
   ご注意: アダプター（1）の押し込む方向を間違わないようにしてください。

図1

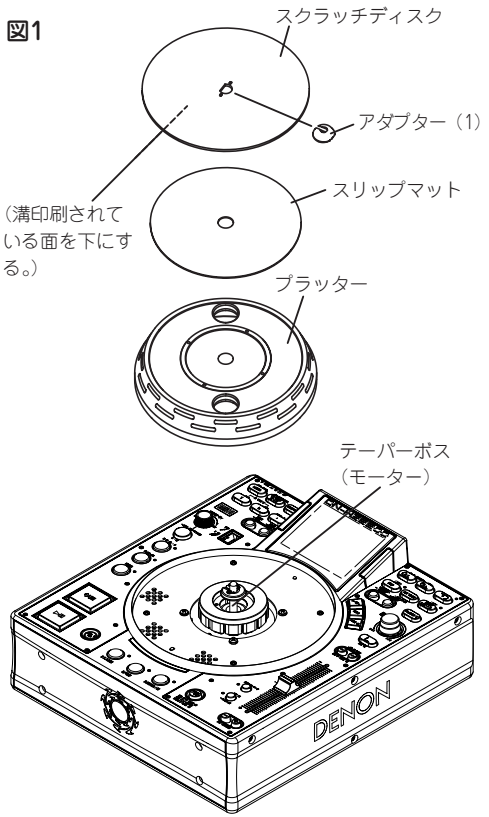


図2

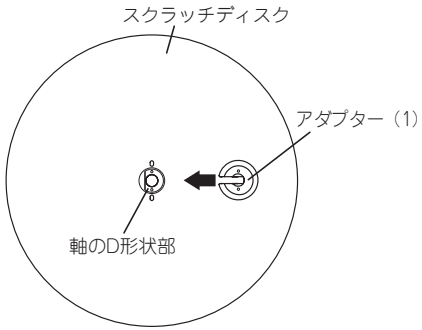
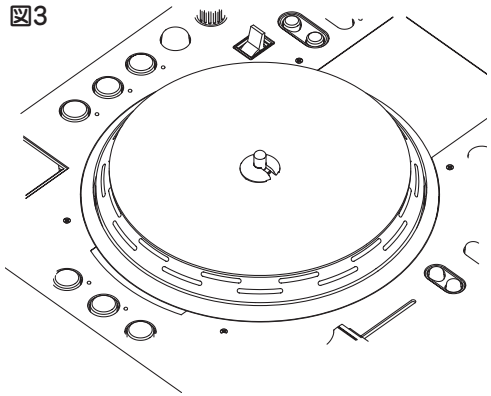


図3



警告:
- モーターには、触らないようにしてください。
- プラッターを取り付ける前には電源を入れないでください。

ご注意:
本機にプラッターを取り付けた状態で持ち運びをするときは、プラッターが脱落しないように注意してください。

(2) 設置

DN-HS5500は、水平に設置してください。

(3) アナログレコード用アダプターの取り付け

アナログレコードを付属のアダプターを使用して本機に取り付けることができます。
これにより自分のお気に入りのアナログレコードを取り付け、アナログターンテーブルの感覚で操作できる設計となっています。
*使用するアナログレコードは平らなそりのないものを使用してください。

• アナログレコード用アダプター

① アダプター（2）	1
② 十字穴付きネジ	3
③ 取り付けプレート	1

1. 17cmアナログレコードの穴にアダプター（2）を乗せてください。
2. 十字穴付のネジ3本でフィックスプレートに取り付けます。
3. モーターのD形状の部分にアダプター（2）をD形状の穴を合わせて挿入します。
4. アダプター（2）の上に図3の矢印の方向にアダプター（1）を押し込みます。

図1

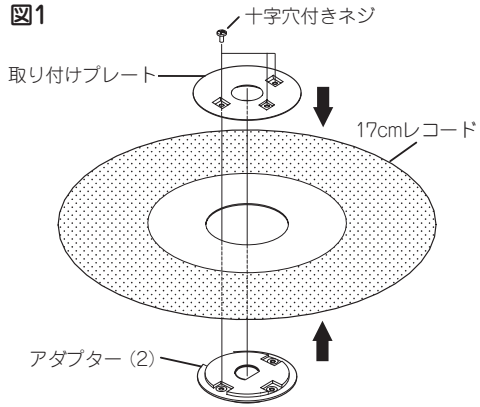
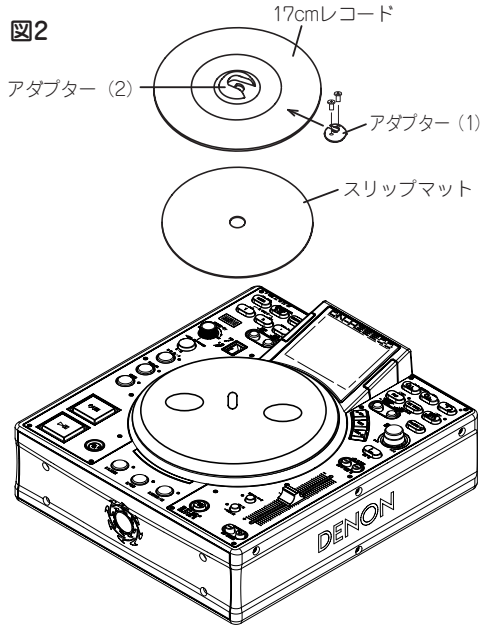


図2



ご注意:
取り付けるアナログレコードにより、スリップマットとの摩擦が十分でなく正常に再生できない場合があります。そのようなときはもっと厚いディスクまたはより重いディスク等、違うディスクに変えてください。

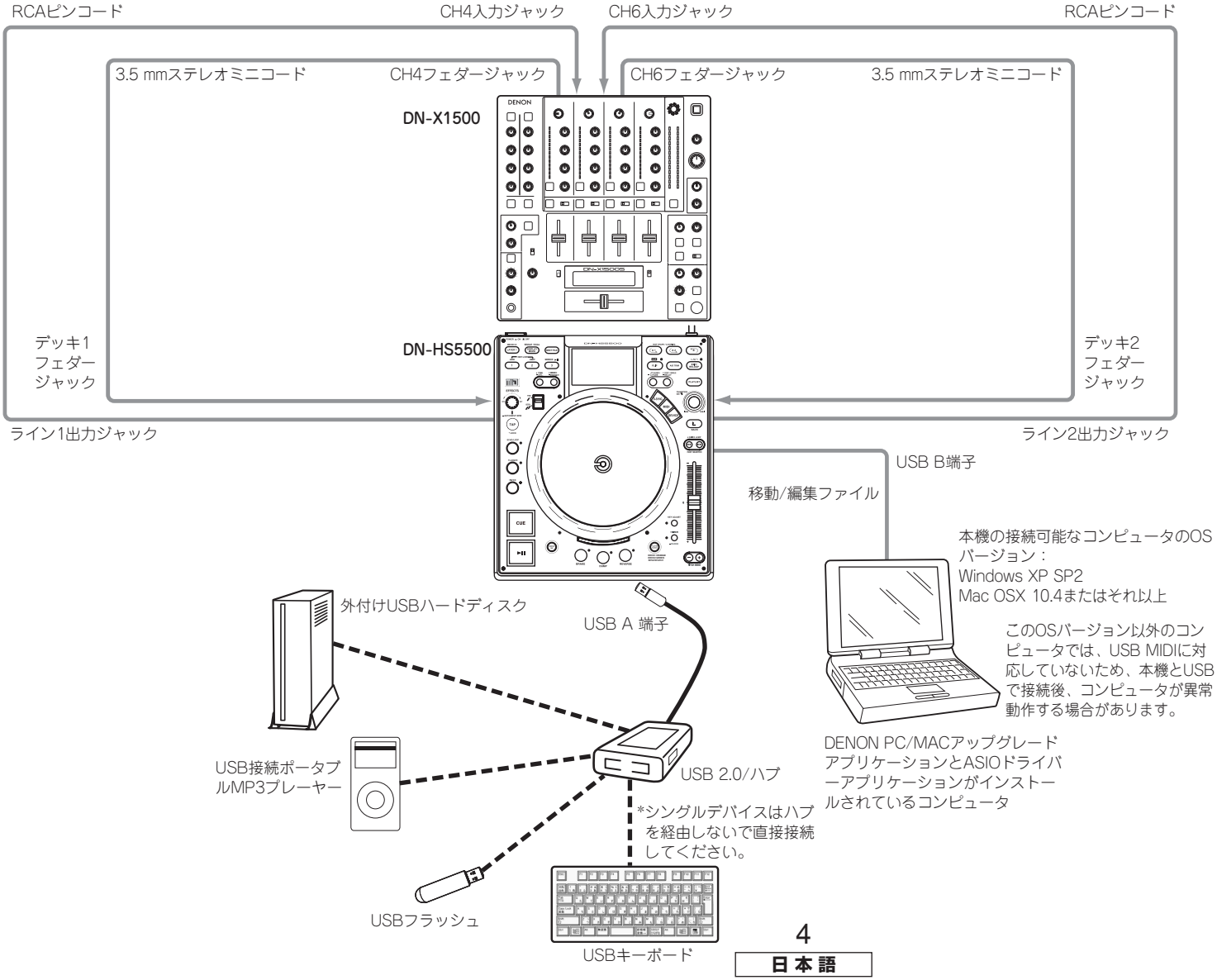
3 接続および設置のしかた

(1) 接続

1. 本機の電源を切ってください。
2. 本機の出力端子にRCAピンコードを接続し、他の方をミキサーの入力端子に接続してください。

注意:

- コントロールコードは弊社のミキサーに付属しているものを使用してください。その他のコントロールケーブルを使用すると機器に思わぬ害を与える場合があります。
- コントロールコードを接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、本機が正しく動作しないことがあります。



接続されているデバイスについて

1. USBハブ

① 最大4つの大容量記憶装置と1台のキーボードが接続できます。
② 複数のUSBハブを接続することはできません。
③ 転送性能を確保するため、必ず高速の互換性デバイスを使用してください。(hi-speed USBのロゴが付された製品をお勧めします)
④ バス電源式USBハブは給電容量が小さいので、この方式のハブに接続されたUSBデバイスは動作が不安定になる恐れがあります。大きな電力が必要なUSB HDDを使用するときや、複数のUSBデバイスを使用するときは、必ず自己電源式USBハブを使用してください。
⑤ 自己電源式USBハブを使用するときは、使用時に必ず電源を供給してください。
⑥ USBハブに接続されているUSBデバイスがDN-HS5500によって認識されない場合は、一度接続を切って再度接続してみてください。ハブに複数のデバイスが接続されている場合は、接続の順序を変えるだけで認識されることがあります。まず、ひとつのデバイスを接続して認識されているかどうかをチェックし、次のデバイスを接続してまたチェック、というようにするのが最善です。
⑦ USBハブを DN-HS5500に接続するときは、DN-HS5500の電源をオフにしてください。

2. USB キーボード

① USBキーボードはQwerty、Qwerts、Azertyタイプのみサポートしています。
② 複数のユニットを接続しないこと。複数のユニットを接続すると、適正な動作が妨げられます。
③ DN-HS5500はキーボードから操作できます。使用可能なキーとそれぞれの機能については、右の表をご覧ください。

	キーボード	DN-HS5500フロントパネルボタン
1	↑	PARAMETERSノブ（スクロールアップ）
2	↓	PARAMETERSノブ（スクロールダウン）
3	Page Up	ー
4	Page Down	ー
5	ENTER	PARAMETERSノブを押す
6	ESC	BACKボタン
7	TAB	デッキの切り替え（キーボード入力）
8	TAB＋Shift	D-SYNC状態ではないとき、キーボードで操作できる機器を切り替えます。
9	INSERT	SOURCEボタン
10	Windows	PLAY LISTボタン
11	ALT	NEXT FILEボタン
12	F1	TIMEボタン
13	F2	TITLE/ID3ボタン
14	F3	CONT./SINGLEボタン
15	F10	クイックジャンプの設定を切り替える。
16	F11	LCDディスプレイを反転。
17	F12	ファイル検索のステップ数を切り替える。

従来、デッキの切り替えはキーボードの“Tab”キーでしかできなかったのですが、いまでは“Tab”キーのほかに、サーチ時にPARAMETERSノブを操作して、ノブを操作した側のデッキに対してキーボード入力を有効にすることも可能になっています。

注意:
- 上表に記載された以外のキー（文字）は、文字を入力するときに用いられます。使用可能な文字のリストは、“文字入力について”をご覧ください。

3. あらゆるタイプのUSBデバイス

① バス電源だけを使用すると、USBデバイスの動作が不安定になることがあります。
② USBデバイスの仕様にもよりますが、なかには例えば複数のデバイスを用いるときなどに、識別されないデバイスもあります。
③ USBデバイスが認識されない場合は、いったん外して接続しなおすと認識されることがあります。
④ デバイスからホスト装置にUSB規格に適合しない方法で電力が供給されるような場合は、ホスト装置に損傷を与えかねません。そのようなデバイスは使用しないでください。
⑤ DN-HS5500によって選択、操作されているときや、データベースの作成が行われているとき、USBデバイスの接続を切らないでください。デバイスにアクセスされている間に接続を切ると、ファイル等に損傷を与える恐れがあります。
⑥ 大容量USBデバイスや、特にデータ記憶用に設計されていないUSBデバイス（MP3プレーヤーなど）の場合は、DN-HS5500に接続された後、認識されるまでに多少時間がかかることがあります。
⑦ コンプライアンステストに合致または適合しているデバイスを使用してください。

4. DENON DJ Music Manager

① Windows XP Service Pack2オペレーティングシステムが搭載されているコンピュータ。
② DENON DJ Music Managerが動作できるだけの十分なフリースペースを持つHDD。(20MB)
③ USB 2.0接続端子

注意:
- DN-HS5500をコンピュータに接続するとき、DENON DJ Music Manager以外のソフトウェアを使用しないでください。
  DENON DJ Music Manager以外のソフトウェアを使用すると、HDDのデータが破壊されたり、DN-HS5500に故障が生じたりする恐れがあります。

5. iPod®

① 使用できるのはWindowsフォーマットのiPodだけです。Macintoshフォーマットの iPodは使用できません。
② iTunesからiPodに転送されたMP3/WAVファイルは、読み取り専用ファイルです。これらのファイルではMEMO機能は使用できません。
③ iTunesでは、“Summary”ー“Options”の“Manually manage music”にチェックマークを付けてください。
④ iTunesからiPodに転送されたMP3/WAVファイルは、iPod専用のファイル名で管理されますので、元のファイル名では検索することができません。ID3タグ（アーティスト、アルバム、タイトル、ジャンル、年、BPMなど）を用いて検索するようお勧めします。

*iPodおよびiTunesはApple Computer, Incの商標または登録商標です。

6. その他

① DN-HS5500では、ソフトウェアはUSBデバイスを用いてアップデートできますが、デバイスが認識されるには多少時間が必要な場合がありますので、ご注意ください。
② USB規格に適合するケーブル以外は使用しないこと。改造USBケーブルを使うと、DN-HS5500に損傷を与える恐れがあります。
③ デバイスのフォルダに多数のファイルが格納されていると、検索に多少時間がかかり、動作が不安定になることがあります。各フォルダのファイル数は1000未満にとどめてください。

4 各部の名前とはたらき（Ⅱページを参照してください。）

（1）リアパネル

❶ USB B端子
- パソコンと接続します。
- パソコンとDN-HS5500間でMP3/WAVファイルやプレイリストのファイルを転送します。

❷ USB A端子
- マスストレージのUSBキーボードやUSBハブを接続します。

❸ D-SYNC端子
- DN-HS5500をもう1台接続するためのケーブル端子です。
  D-SYNC機能を実現します。
  ＊ケーブルの先にはDN-HS5500以外は接続しないでください。

❹ デジタル出力端子（DIGITAL OUT）
- デジタルデータが出力されます。
- 接続には75Ωのピンコードを使用ください。
- シールドされたより線タイプのケーブルをお勧めします。

ご注意：
- デジタル出力をアナログに変換した後の再生レベルは、エフェクター使用時の再生レベル変化による再生出力のクリップを防止するため、通常再生レベルの–6dBとなります。

❺ アナログ出力端子（LINE OUT）
- アンバランスタイプのRCA出力端子です。
- 音声信号が出力されます。

❻ フェーダー端子
- フェーダー出力を備えたミキサーと接続する入力端子です。

❼ POWERボタン（▂ON ■OFF）
- 電源をON/OFFします。

（2）トップパネル

警告：
- DN-HS5500では、短く押す場合と長く押す場合（1秒以上）で2通りの違った働きをするボタンがあります。
  ● マークは短く押すボタンの機能名、 ━ マークは長く押す場合のボタンの機能名が記載されています。

❽ PLAY/PAUSEボタン（►II）
- ボタンを押すと再生、ポーズを選択します。
- スタンバイ、ポーズ中にボタンを押すと再生を開始し、再生中にボタンを押すとポーズします。

❾ CUE/STUTTERボタン
- **CUE（バックキュー）：**
  再生中またはポーズ中にこのボタンを押すと再生を開始した位置（CUEポイント）に戻りスタンバイします。この機能をバックキューと呼びます。
- **スタッター：**
  スタンバイ中にこのボタンを押すと、ボタンを押している間、CUEポイントからの再生をおこないます。

❿ プラッター/スクラッチディスク
マニュアルサーチ、ピッチベンド、スクラッチ再生に使用します。
- **プラッター：**
  PLATTER SOURCEボタンで選択したスクラッチソースの再生を開始するとプラッターが回転します。

お知らせ：
スクラッチソースがBEND/SEARCHのとき、プラッターは回転しません。
- **スクラッチ：**
  スクラッチディスクを回すと、PLATTER SOURCEで選択したソースのスクラッチ再生がおこなえます。

ご注意：
プラッターが回転中、無理にプラッターの回転を止めないでください。
プラッター回転メカニズムの故障の原因になる恐れがあります。
また、プラッターの回転を無理に停止させると、回転を停止し、ポーズモードになります。

⓫ FILTERボタン
- ボタンを押すとフィルターがオンし、フィルターのパラメータ設定画面が表示されます。

⓬ FLANGERボタン
- ボタンを押すとフランジャーがオンしフランジャーのパラメータ設定画面が表示されます。

⓭ ECHO/LOOPボタン
- **ECHO LOOP：**
  ボタンを押すとエコーがオンし、エコー/ループのパラメータ設定画面が表示されます。
  フィードバックレベルを“MAX”に設定するとECHO LOOPが設定されます。
- **Tail ECHO：**
  曲が停止するときのみ（Play/CUE操作）にECHO再生になります。
  ボタンを2秒間押するとTail ECHOをオン、オフします。

⓮ TAP、●LOCK、━AUTO/INPUT BPMボタン
通常BPM（Beats Per Minute）の検出はオートBPMでおこなわれます。
- **TAP：**
  このボタンをBPMに合わせて繰り返し押すと、曲のBPMが入力、保持され、オートBPMモードがオフします。
- **LOCK：**
  オートBPMモードのときにボタンを1回だけ短く押すと、オートBPMモードがオフし、検出されたBPMが保持されます。
- **AUTO：**
  ボタンを1秒以上押し続けると（2秒未満）、オートBPMモードがオンします。
- **INPUT BPM：**
  ボタンを2秒以上押し続けると、PARAMETERSノブでBPMを直接数値で入力することが可能なBPMデータ入力モードになり、オートBPMモードがオフします。
  再度ボタンを押すとBPMデータ入力モードがオフし、入力したBPMが保持されます。

ご注意：
- 新しく曲を選択すると自動的にオートBPMモードがオンします。
- BPMのデータはメモ機能により保持することが可能です。

⓯ EFFECTSノブ
- このノブを使用して、内部のエフェクターのパラメータを設定してください。

⓰ スクラッチ再生方向選択レバー
スクラッチ再生の再生方向を選択します。
- **BOTH：**
  スクラッチディスクを回転させると、スクラッチ再生音がリバース、フォワードの両方向から出力されます。
- **FWD：**
  スクラッチディスクを回転させると、スクラッチ再生音がフォワード方向からのみ出力されます。

⓱ ●TIME、━UTL.ボタン
- **TIME：**
  ボタンを押すとELAPSED（経過時間）、REMAIN（残量時間）、T.ELAPSED（トータル経過時間）、T.REMAIN（トータル残量時間）から時間表示タイプを選択します。
  T.ELAPSED（トータル経過時間）、T.REMAIN（トータル残量時間）はプレイリスト再生モードのときのみ切り替わります。
- **UTIL：**
  両デッキがCUE状態にあるときに、このボタンを1秒以上押し続けるとユーティリティモードになります。

⓲ ファンクション1ボタン
Hotlistに曲を登録します。
- File Searchの場合選択された曲をHotlistに追加します。

⓳ LAYER1ボタン
操作するDeckを切り替えます。
- Deck1が操作可能な場合はLCDの左側のLEDが点灯します。
- Deck2が操作可能な場合はLCDの右側のLEDが点灯します。

⓴ ファンクション2ボタン
Hotlistの曲を再生済みと同じ状態にします。
- Hotlistの曲にカーソルが載っている場合、その曲を再生済みにします。
  このときFileの先頭にレ印が表示されます。

㉑ DISPLAY MODEボタン
- 再生中ボタンを押すとFull画面表示とDual画面表示が切り替わります。
  Dual画面からFull画面表示に切り替わるときは操作可能なDeck側の画面が表示されます。

㉒ NEXT FILEボタン
再生中ボタンを押すとネクストファイルモードが選択されます。
ネクストファイルモードのとき、PARAMETERSノブで次に再生する曲を選択できます。

㉓ ファンクション3ボタン
- ミラーミックスモードのとき、ミラーミックスを開始/停止します。

㉔ • MEMO、 ー PRESETボタン
- MEMO：
  スタンバイ中にボタンを押すとメモモードになり
- PRESET：
  ポーズ、スタンバイ状態でボタンを1秒以上押すとプリセット設定画面が表示され、PAREMETERSノブでプリセットの項目選択、データ設定が可能になります。

㉕ • TITLE/ID3、 ー C-FADEボタン
- TITLE/ID3：
  MP3ファイルにID3tagデータがあるときボタンを押すとアーティスト名、アルバム名、ジャンル、BPM、Yearの情報の表示をオン、オフします。
- C-FACE：
  再生中ボタンを1秒以上押すとクロスフェーダー再生をオン、オフします。

㉖ FLIP/CLRボタン
- FLIP：
  A1またはA2ボタンの動作モードをホットスタートスタッターから選択します。
  ホットスタッターを選択すると、H/Sが表示し、スタッターを選択すると、STRを表示します。
- A1、A2 CLR：
  このボタンを押しながらA1またはA2ボタンを押すと選択したAポイントおよびBポイントを消去します。
  このボタンを1秒以上押し続けると、すべてのA、Bポイントを消去します。

㉗ A1、A2ボタン
- ホットスタート、シームレスループ、スタッター再生で使用します。

㉘ A/B TRIMボタン
- シームレスループが設定されているときに、ボタンを押すとシームレスループのAまたはBポイント調整モードになります。

㉙ Bボタン
- A1またはA2ボタンの内、最後に押したAボタンのシームレス終了点Bポイントを設定します。

㉚ EXIT/RELOOPボタン
- シームレスループ再生中にボタンを押すと、ループを一時的にオフし通常再生に戻るイグジット機能を選択し、イグジットからループ再生に戻るリループ機能を選択します。

㉛ PLAY LISTボタン
ファイル再生モードとプレイリスト再生モードから再生モードを切り替えます。
- File Play：
  MP3/WAVファイルを選択して再生します。
- Playlist Play：
  プレイリストを選択し、そのリストに登録されているMP3/WAVファイルを再生します。（リストには99ファイル登録可能です）

㉜ • CONT./SINGLE、 ー RELAYボタン
- CONT./SINGLE：
  ボタンを短く押すと、連続再生モードとシングル再生モードから再生モードを選択します。
  CONT.（連続再生モード）：
  再生を開始すると、最終ファイルのエンドまで再生を継続して再生を終了します。
  SINGLE（シングル再生モード）：
  再生を開始すると、再生を開始したファイルのエンドまで再生を継続して再生を終了します。
- SINGLE PLAY LOCK（シングル再生&プレイロック）：
  シングル再生&プレイロックはプレセット設定で選択可能です。
  シングル再生&プレイロックを選択すると、再生モードはシングル再生モードですが、再生中、ファイル選択が禁止されますので、誤ってファイル選択をおこない、再生を停止させることを防止できます。
- Relay：
  ボタンを1秒以上押し続けると、リレー再生のオン、オフを選択します。

㉝ PARAMETERSノブ
- PARAMETERS：
  PARAMETERS LEDが点滅しているときにノブを回すとプラッターエフェクト、メモ、プリセットなどのパラメータやデータ選択をおこないます。
- FILE SEARCH：
  PARAMETERS LEDが点灯しているとき、ノブを回すとトラック選択をおこないます。

㉞ BACKボタン
- ボタンを短く押すとひとつ前の階層表示に戻ります。
  1秒以上押し続けると最上位階層に戻ります。

㉟㊱ FAST SEARCH（►►）QUICK JUMPボタン
FAST SEARCH（◄◄）QUICK JUMPボタン
- QUICK JUMP：
  ◄◄ボタンを短く押すと再生位置が指定時間手前にジャンプします。
  ►►ボタンを短く押すと再生位置が指定時間先にジャンプします。
- FAST SEARCH：
  ◄◄ボタンを押し続けると、通常再生方向とは逆方向に早送り再生をおこないます。
  ►►ボタンを押し続けると、通常再生方向に早送りをおこないます。

㊲ DEVICEボタン
- ボタンを押すとデバイス画面が表示されます。

㊳ MIDIボタン
- USB MIDIコントロールモードの選択画面を表示します。

㊴ D-SYNCボタン
D-SYNCモードのオン、オフを切り替えます。
ケーブルで接続されたもう一方の実機でDeck2側をコントロールできるようになります。
（ボタンを押されてない方は、コントローラになるイメージです。）

㊵ PITCH SLIDER
- このスライダーで再生スピードを調整します。
- スライダーを上方向に動かすと再生スピードが遅くなり、下方向に動かすと再生スピードが速くなります。

㊶ KEY ADJUSTボタン
- キーアジャストのオン、オフが切り替わります。

㊷㊸ PITCH BEND ±ボタン
- これらのボタンを押すと、一時的に再生スピードを変えることができます。
- PITCH BEND +ボタンを押している間は、再生スピードを上げ、PITCH BEND -ボタンを押している間は、再生スピードを下げます。
- ボタンから手を離すと元の再生スピードに戻ります。

㊹ • PITCH、 ー RANGEボタン
- PITCH：
  ボタンを短く押すと、押すたびにピッチオン、オフが切り替わります。
  ピッチがオンするとPITCH LEDが点灯します。
- RANGE：
  ボタンを1秒以上押し続けると、PARAMETERSノブでピッチレンジを±4%、±10%、±16%、±24%、±50%、±100%から選択が可能になります。

㊺ PLATTER SOURCEボタン
スクラッチ再生、ベンド、ファイルサーチまたはマニュアルサーチからプラッターディスクのモードを選択します。
- SCRATCH：
  スクラッチ再生時は、このボタンはオレンジ色に点灯またはブリンクします。プラッターディスクを押すことで音声を操作します。
- BEND/SEARCH：
  プラッターのモードがベンドに設定されているとき再生中にプラッターディスクを回すとピッチベンド機能として働きます。このとき“Bend”インジケーターが表示されます。
  プラッターのモードがサーチに設定されているときポーズまたはCUE状態でプラッターディスクを回すとマニュアルサーチ機能として働きます。
  マニュアルサーチでは、フレーム単位（1/75秒）でサーチすることが可能です。ことのき“Search”インジケーターが表示されます。

㊻ プラッターLED
スクラッチメモリやプラッターのモードの状態をこのLEDによって知らせます。

㊼ REVERSEボタン
- ボタンを押すとリバース再生が開始されます。

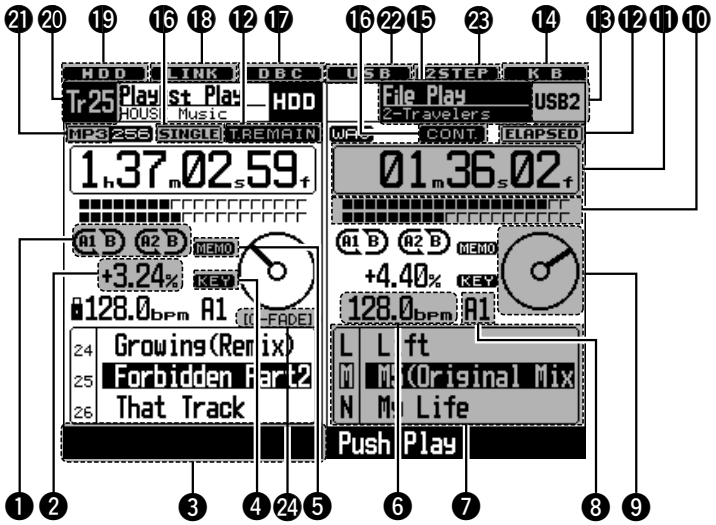
㊽ DUMPボタン
- ボタンを押すとDUMPのプラッターエフェクトが選択されます。

㊾ BRAKEボタン
- ボタンを押すとブレーキモードとパラメータ設定が選択されます。

㊿ MIRROR MIXボタン
ボタンを1秒以上押し続けると、ミラーミックスモードのオン、オフを選択します。
ミラーミックスモードのとき、ボタンを短く押すと、ミラーミックスのディレー時間をPARAMETERSノブで選択できます。

(3) ディスプレイ

Dual画面時



❶ ループモード表示

- DN-HS5500はループモード表示としてAとB、2つの矢印表示があります。
  AとB表示はA、Bポイントが設定されると表示されます。
- 2つの矢印は次のようなループモードを示します。

  (A1 B) または (A1 B) 左側の矢印が点灯：
  ホットスタートモード

  (A1 B) 両方の矢印が点灯：
  シームレスループモード

  (A1 B)、(A1 B) 両方の矢印が点滅：
  シームレスループ再生中

  (A1 B)、(A1 B) 右側の矢印のみが点滅：
  シームレスループ一時中断中（イグジット中）

❷ Pitch表示

- 再生スピード（ピッチ）を表示します。

❸ ナビゲーション表示

- DN-HS5500では、モード選択をするときなど、ナビゲーションディスプレイの表示に従ってPARAMETERSノブを使用します。
  PARAMETERSノブを使って入力可能なパラメータを表示します。

❹ KEY ADJUSTインジケーター

- キーアジャストモードがオンのときに“KEY ADJ.”インジケーターが点灯します。

❺ MEMOインジケーター

- 現在再生中またはCueスタンバイ中のファイル/プレイリストにメモデータがあるとき“MEMO”インジケーターが表示されます。

❻ BPMインジケーター

- Pitch表示部にBPMが表示されるときに点灯します。

❼ キャラクター表示

- キャラクター表示エリアに表示されたメッセージに従いPARAMETERSノブを使ってモード選択や機能選択ができます。
- キャラクター表示エリアには動作、モード名、データなどが表示されます。また“Push/Play”のようなガイドメッセージを表示します。このときプレイしたときはPARAMETEERSノブを押してください。“》”が表示された場合はPARAMETERSノブを回し、“↴”が表示された場合はPARAMETERSノブを押してください。
- PARAMETERSノブ入力が可能なときにはPARAMETERSノブのLEDが点滅し、それ以外のときはファイル選択をするために使用されます。

❽ BPMポイント表示

- “A1”、“A2”ポイントのBPM値が計算されたとき表示されます。

❾ ビジュアルマーカー

- デッキの再生状態により回転します。
  スクラッチや他のプラッターディスクの操作を表示します。

❿ 再生位置インジケーター

- **再生位置インジケーター：**
  曲の再生時間をインジケーターで表示します。通常再生時は白、リバース時は反転します。
- **End of Message：**
  曲の終了位置までの時間が指定の時間以下になると、曲の残り時間（EOM）に合わせ再生位置表示が点滅し曲の終了を知らせます。

  ＊EOM時間はプリセットTimeで設定できます。

⓫ 分、秒、フレーム表示

- 現在再生している曲の再生時間を表示します。

⓬ 時間表示モード

- Timeボタンを押すと、時間表示モードが次のように切り替わります。

  ELAPSED：
  曲の再生経過時間を表示します。
  REMAIN：
  曲の残りの再生時間を表示します。
  T. ELAPSED：
  プレイリスト再生モード時、トータルの再生時間を表示します。
  T. REMAIN：
  プレイリスト再生モード時、トータルの残り再生時間を表示します。

⓭ デバイス表示

- 各デッキで選択したデバイスが表示されます。

⓮ キーボードインジケーター

- キーボード接続されたときに点灯します。

  KB
  キーボード入力はDeck1に対して有効な場合

  KB
  キーボード入力はDeck2に対して有効な場合

  KB
  キーボード入力はDeckに依存しない場合（Utility Modeの場合）

⓯ モード表示

- **上側：**現在の再生モードを表示します。
- **下側：**現在再生中のプレイリスト名、アーティスト名などを表示します。

⓰ PLAYモードインジケーター

- シングル再生モードおよびシングル再生＆プレイロックモードのとき“SINGLE”表示が点灯します。
- 連続再生モードのとき、“CONT.”が表示されます。

⓱ データベースクリエーションインジケーター

DBC

- データベース作成中に点滅します。

⓲ 外部機器接続確認インジケーター

LINK

- 外部機器が接続されたときに点滅します。
  点滅したときはDEVICEボタンを押して、デバイスを選択してください。（キーボードが接続されたときは点滅しません）

⓳ ハードディスクインジケーター

HDD

- ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

⓴ トラックインジケーター

- プレリスト再生モードで再生中、ポーズ中、またはCueスタンバイ中のトラック番号を表示します。
  ファイル再生モードでは表示されません。

㉑ ファイルデータインジケーター

- 現在選択されているファイルのフォーマット（“WAV”または“MP3”）を表示します。現在選択されているファイルが“MP3”の場合はビットレートなども表示されます。

㉒ USBインジケーター

- 外部USBハードディスクやUSB Thumb Driveにアクセスしているときに点灯します。

  ＊点灯中は接続されているUSBデバイスを抜かないでください。

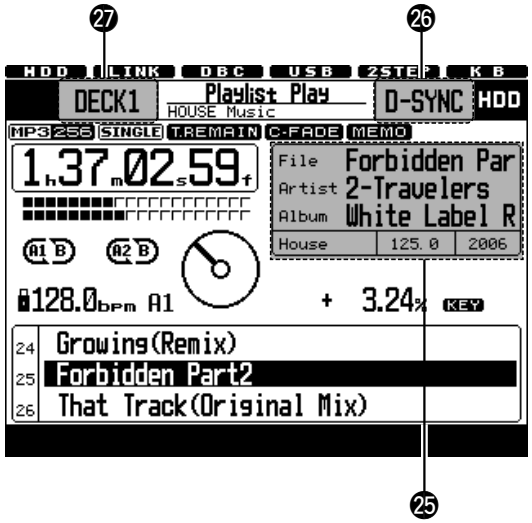
㉓ 2STEPインジケーター

- ファイルサーチモードのサーチステップが2ステップのとき、表示されます。

㉔ Cross Faderインジケーター

- クロスフェーダー再生中に点灯します。

Full画面時



㉕ テキスト表示

- カーソルが載っているファイルのファイル名、アーティスト名、アルバム名などを表示します。
- カーソルが載っているのがファイル名の場合、テキスト表示部にはタイトル名が、カーソルが載っているのがタイトル名の場合、テキスト表示部にはファイル名が表示されます。

㉖ D-SYNCモード表示

- D-SYNCモード中に表示されます。
  D-SYNCモードを解除したときには表示されません。

㉗ 再生deck表示

- パネルボタン操作が有効なdeckを表示します。

5 電源を入れる

① **Powerボタンを押します。**
下記の画面が表示されます。

- Presetで設定したDeviceで始まります。
- Power On PlayがOnの場合はPresetのPower On Playで選択されているPlaylistで起動します。

② **上記で選択されたデバイスが接続されていないときは以下の手順でデバイスを選択します。**

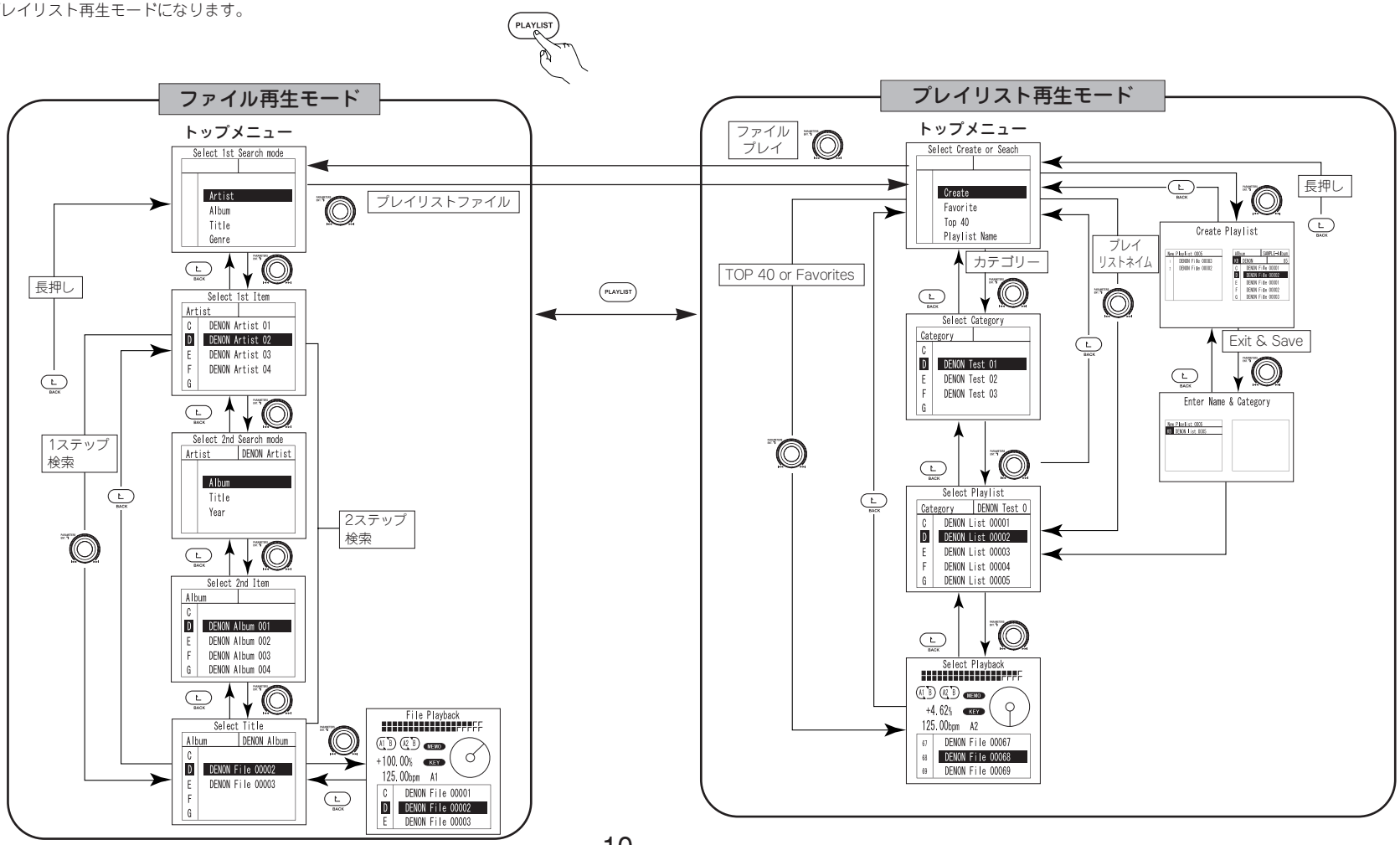
- DEVICEボタンを押します。
  デバイス選択画面が表示されます。
  PARAMEETRSノブまはたスクラッチディスクを回してデバイスを選択します。
  PARAMETERSノブを押すと決定します。

6 ファイルを選ぶ

DN-HS5500の再生モードには次に示す2つの再生モードがあります。

- **ファイル再生モード**
  MP3/WAVファイルをアーティスト名、アルバム名、ジャンル、year、BPM、などで検索し選択されたファイルを再生します。
- **プレイリスト再生モード**
  ユーザーが作成、編集したプレイリストを選択し、そのリストに登録されているMP3/WAVファイルが再生されます。
  プレイリストを使うと、DN-HS5500は従来のCDと同じような間隔で操作できます。
  ひとつのデバイスに対して1,000個のプレイリストが作成可能です。またそれぞれのプレイリストには最大99のMP3/WAVファイルを登録することが可能です。

再生モードはPlaylistボタンを押すごとにファイル再生モードとプレイリスト再生モードが切り替わります。また再生モードはそれぞれのトップメニューから“Playlist Play”または“File Play”を選択しても切り替えることができます。
Play Listボタンを長押しするとプレイリスト再生モードになります。



■ ファイル再生モード

このモードではデバイスからMP3/WAVファイルを検索し選択したファイルを再生します。
検索モードは2つあります。1つ目は1つのファイル情報によりファイルを検索します。もう1つは2つのファイル情報を組み合わせてファイルを検索することによりより精度の高いファイル検索を行います。

検索モード

① 1ステップサーチモード（工場出荷時の設定）

サーチモード
Artist
Album
Title
Genre
Year
BPM
File Name
Folder

② 2ステップサーチモード

1st サーチモード	2nd サーチモード
Artist	Album
	Title
	Year
	BPM
Album	–
Title	–
Genre	Artist
	Album
	Title
	Year
	BPM
Year	Artist
	Album
	Title
	BPM
BPM	Artist
	Album
	Title
	Genre
File Name	–
Folder	–

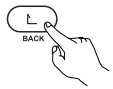
Album、Titel、File Name、Folder Nameサーチでは2ステップサーチモードはできません。
2ステップサーチは1ステップサーチと同じ方法でサーチを行います。
1ステップサーチと2ステップサーチの選択は20プリセット（17）Search Stepで選択できます。34ページの“プリセット”を参照してください。
また、キーボードが接続されているとき、トップメニューからF12キーを押すことによりステップ゛サーチを変更することができます。

検索手順

ファイル再生モードのトップメニューからのファイル検索手順は次の通りです。

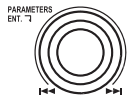
トップメニューを表示する。

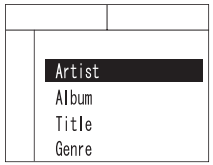
- プレイリスト再生モードの場合：
  ポーズ中またはスタンバイ中にPLAY LISTボタンを押します。
- ファイル再生モードの場合：
  BACKボタンを何回か押すまたは1秒以上押し続けます。



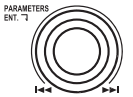
1 ファイル再生モードのトップメニューでPARAMETERSノブかスクラッチディスクを回して“サーチモード”を選択し、PRAMETERSノブを押して決定します。

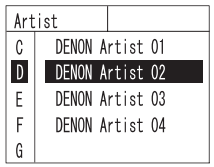
＊スクラッチディスクでは決定はできません。



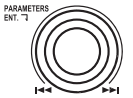


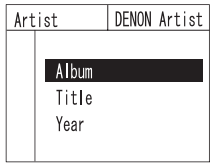
2 （手順1で“Artist”を選択した場合）
アーティスト名のリストが表示されます。PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回してお好みのアーティスト名を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。
1ステップサーチモードの場合は手順5へ進みます。



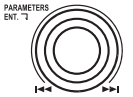


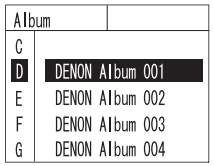
3 （手順1で“Artist”を選択した場合）
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して2nd サーチモードを選択します。（この場合はAlbum、Title、Year、BPMが表示されます。）
PARAMETERSノブを押して決定します。



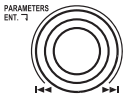


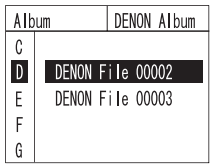
4 （手順3で“Album”を選択した場合）
手順1で選択したアーティストのアルバム名のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回してお好みのアルバム名を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。





5 ここまでの手順で選択された曲のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して再生したい曲を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。



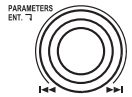


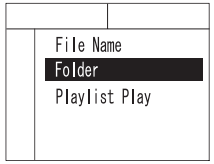
6 CUEスタンバイ状態になります。

フォルダー名検索

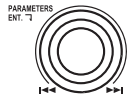
1 ファイル再生モードのトップメニューでPARAMETERSノブかスクラッチディスクを回して“サーチモード”を選択します。
PRAMETERSノブを押して決定します。

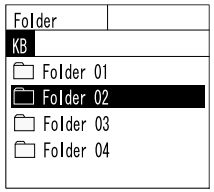
＊スクラッチディスクでは決定はできません。



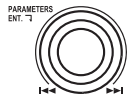


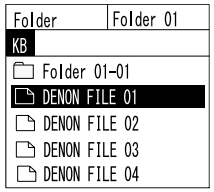
2 ファルダ名のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回してFolder名を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。





3 Folder内に存在する曲またはFolder名のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはプラッターディスクを回して再生したい曲を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。
Folder名を選択した場合はそのFolder内に存在する曲またはFolder名が表示されます。BACKボタンを押すと1つ上のFolder内の表示にもどります。





4 CUEスタンバイ状態になります。

■ プレイリスト再生モード

このモードではデバイス上のプレイリストを検索し、選択してそのリストに登録されているMP3/WAVファイルを再生します。また、新しいプレイリストを作成することも可能です。プレイリスト毎にカテゴリー名を付けられ、それらを使って検索することもできます。

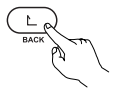
＊プレイリストは、エディットモードやパソコンのアプリケーションソフト、“DENON DJ Music Manager”を使っても作成可能です。

プレイリスト作成

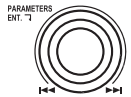
新しいプレイリストはファイル再生モードのトップメニューから作成できます。作成手順は次の通りです。

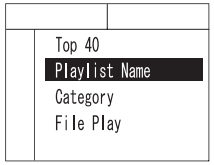
トップメニューを表示する。

- プレイリスト再生モードの場合：
  ポーズ中またはスタンバイ中にPLAY LISTボタンを押します。
- ファイル再生モードの場合：
  BACKボタンを何回か押すか1秒以上押し続けます。

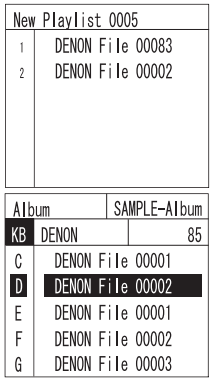


1 プレイリスト再生モードのトップメニューでPARAMETERSノブかスクラッチディスクを回して“Create”を選択し、PRAMETERSノブを押して決定します。
新しいプレイリストを作成するモードになります。

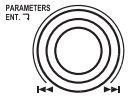


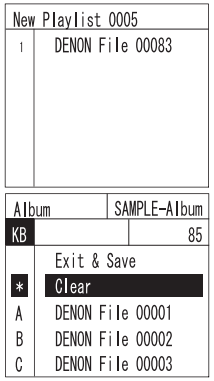


2 プレイリストに曲を追加するには
① プレイリストに登録された曲（最初は何も表示されません）のリストが画面左側に表示され、曲検索画面が画面右側に表示されます。
② 画面右側の曲検索画面で決定された曲が画面左側のプレイリストに順次追加されます。（“検索手順”については11ページを参照してください）

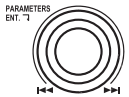


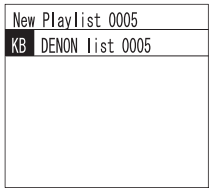
3 プレイリストに追加した曲をクリアするには
PRAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して画面右側の曲検索画面の“Clear”を選択します。
PRAMETERSノブを押すと最後に追加された曲がクリアされます。
この状態でPARAMETERSノブを押すと繰り返し曲をクリアできます。





4 クリアモードを解除するには（プレイリストをセーブする）
① PRAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して画面右側の曲検索画面の“Exit&Save”を選択します。
② PRAMETERSノブを押すと、プレイリスト名*入力画面が画面左側に表示されます。キャラクターを選んで入力してください。（“文字キャラクター入力について”は26ページを参照してください）
③ カテゴリー名**入力画面が画面左側に表示されます。キャラクターを選んで入力してください。





5 作成したプレイリストはプレイリストのリストに追加されます。

＊プレイリスト名：
ユーザーが決めた、さまざまなプレイリスト情報が格納されているファイルの名前です。

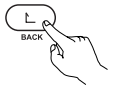
＊＊ カテゴリー名：
プレイリストを分類するための情報です。プレイリストを検索する際に使うことができます。
ユーザーが思い思いに決められ、“Wedding Party”、“Karaoke Party”、“Trance Rave”などのシチュエーションに応じたプレイリストを分類できます。

プレイリスト検索

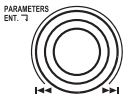
プレイリスト再生モードのトップメニューからのプレイリスト検索手順は以下に示す通りです。

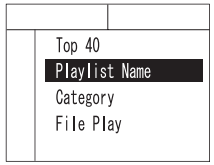
トップメニューを表示する。

- プレイリスト再生モードの場合：
  ポーズ中またはスタンバイ中にPLAY LISTボタンを押します。
- ファイル再生モードの場合：
  BACKボタンを何回か押すか1秒以上押し続けます。

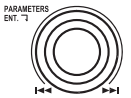


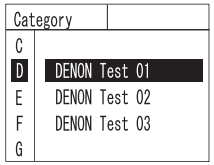
1 プレイリスト再生モードのトップメニューでPARAMETERSノブかスクラッチディスクを回して“Playlist Name”または“Category”を選択し、PRAMETERSノブを押して決定します。
“Playlist Name”を選んだ場合は手順3へ
“Category”を選んだ場合は手順2へ進みます。



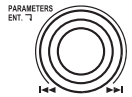


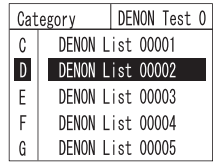
2 カテゴリー名のリストが画面に表示されます。PARAMETERSノブかスクラッチディスクを回してカテゴリー名を選択し、PRAMETERSノブを押して決定します。



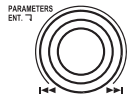


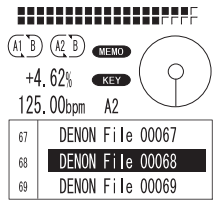
3 ここまでの手順で絞りこまれた曲のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回してプレイリストを選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。





4 選択したプレイリスト内の曲のリストが表示されます。
PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して再生したい曲を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。





5 CUEスタンバイ状態になります。

“Top40”と“Favorite”について

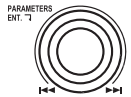
プレイリストプリセットがあります。他のプレイリストのように曲を追加でき、それらをクリアすることもできます。
またこれらのリストはプレイリスト再生モードのトップメニューからダイレクトに選ぶことができ、面倒な検索を行わずにお好みの曲を再生することができます。
編集する際には設定は自動的に行われ、他のプレイリストで設定を保持するために要求されるような操作を行う必要はありません。
“Top40”には最大40曲、“Favorite”には最大99曲登録できます。

Hotlistについて

- 本体に一時的に楽曲を貯めておく機能です。
- 電源再起動時にHotlistの保持はしません。
- Master Deviceが接続されている場合のみ操作可能です。

1-1 **Hotlist作成**

File Search中にlistに追加したい曲をPARAMETERSノブを使って選択します。



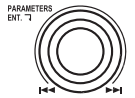
1-2 ファンクション1ボタンを押すとカーソルがのっている曲がHotlistに追加されます。

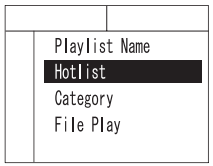
✻Next File Search中での操作は適応していません。

✻既に99曲追加されている場合は追加できない旨のメッセージが表示されます。

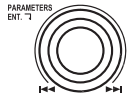
2-1 **再生する**

プレイリスト検索TOP画面を表示します。
PARAMETERSノブでHotlistを選択し、ノブを押して決定します。

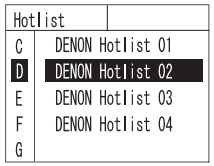




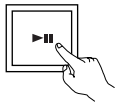
2-2 Hotlist内の楽曲が表示されます。
再生したい曲をPARAMETERSノブを回して選択し、押して決定します。



✻キーボード検索はできません。

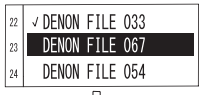


2-3 曲を決定すると再生画面になりキュースタンバイ状態になります。
PLAY/PAUSEボタン（▶II）ボタンを押して再生します。



3 **再生済み操作**

再生していない曲を再生したものとして処理します。
Hotlistの中で曲にカーソルがのっているときにファンクション2ボタンを押すとその曲に再生済みアイコンが表示されます。



✻通常、曲が読み込まれ再生可能状態になると再生済みアイコンが表示されます。

✻再生済みアイコンが表示された曲を再度演奏することは可能です。

4 **削除**

Hotlist内の曲の削除を行います。
Utility Modeの“Hotlist Edit”を選択して“Delete List”または“Removed Played”を選択します。

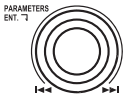
Delete List： Hotlistから全ての曲を削除します。
Removed Played： Hotlistから再生済みの曲のみ削除します。

デバイスを切り替える

検索は現在選択されているデバイス内で行われます。
他のデバイスのプレイリストや曲を再生する、もしくは現在選択されているデバイス内にプレイリストや曲が見つからない場合は、以下に示す手順でデバイスを変更します。

1 DEVICEボタンを押すと“DEVICE”選択画面が表示されます。

2 PARAMETERSノブまたはPLATTERディスクを回してデバイスを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

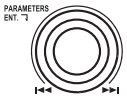


3 再生モードを保持したまま選択されたデバイスのトップ画面が表示されるので、プレイリストやファイルの検索もできます。
パソコンと接続されている状態で“PC”を選択すると、USB Device Modeになります。

USB MIDI コントロールモード

1 パソコンが接続されているときにMIDIボタンを押すと“USB MIDIコントロールモード”の開始確認画面が表示されます。

2 PARAMETERSノブを回して“OK”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



3 USB MIDIコントロールモードが開始されます。

✻LAYERボタンとNEXTFILEボタンとA1ボタンとBボタンを4秒間押すことで初期起動画面に戻ります。

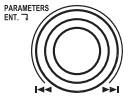
✻ USB Audio
USBオーディオインターフェイスは、2系統のステレオ出力で44.1KHzサンプリングに対応します。
低レイテンシASIO/OSX Core.オーディオをサポートします。

■ テキストサーチ

頭文字や文字列を使いファイルサーチモードやプレイリストサーチモードで曲やアルバムを検索するために使用します。例えば、任意のアーティスト名を選ぶ場合、PARAMETERSノブを押しながら回すと特定の文字、数字または記号から始まるアーティスト名だけを表示します。（表示順はA、B、C・・・）PARAMETERSノブを押しながら回して“E”を選択した場合には“E”で始まるアーティスト名だけを表示します。
キーボードが接続されている場合は、キーボードから入力した文字、数字または記号から始まるアーティスト名だけを表示できます。（最大8文字入力可能）

PARAMETERSノブを使った操作方法

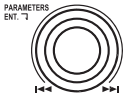
1 Artist、Album、Title、Playlist名などの名前を選択する画面でPARAMETERSノブを押しながら回し左側のフレーム部分より任意のキャラクターを選択します。
キーボード入力部分に文字が入力されている場合でもPARAMETERSノブを押しながらまわすと選択された文字から始まるリストが表示されます。



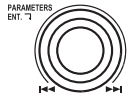
2 ステップ1で選択された文字で始まる名前だけに限定されたリストが表示されます。

✻	すべてを表示
A ~ Z	“A”～“Z”の文字から始まる名前
#	数字で始まる名前

3 通常の検索と同じようにPARAMERTERSノブかスクラッチディスクを回してリストから名前を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



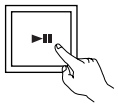
キーボードを使った操作方法

1	Artist、Album、Title、Playlist名などの名前を選択する画面でキーボードを使い任意の文字、数字または記号を入力します。(最大8文字) (“文字入力については”は26ページを参照してください)
2	手順1で選択された文字（文字列）で始まる名前に限定されたリストが表示されます。
3	通常の検索と同じようにPARAMERTERSノブかスクラッチディスクを回してリストから名前を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。 

PARAMETERSノブを使ったテキストサーチとキーボードを使ったテキストサーチが両方使われた場合は最後に操作した方が優先されます。

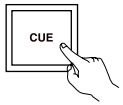
7 基本操作

再生とポーズ



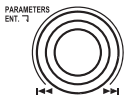
- PLAY/PAUSEボタン（►II）を押すごとに再生とポーズを切り替えます。PLAY/PAUSEボタン（►II）は再生中はグリーンで点灯し、ポーズ中は点滅します。
- 再生中にPLAY/PAUSEボタン（►II）を押すとDN-HS5500はその位置でポーズします。再度PLAY/PAUSEボタン（►II）を押すとポーズした位置から再生を開始します。
- 再生中、プラッターソースがスクラッチに設定されているときにスクラッチディスクを手で押さえるとポーズになります。手を離すと再生を再開します。

再生とキュー



- 再生中、CUEボタンを押すと再生を停止し、再生を開始した位置に（キューポイント）戻ります。この機能をバックキューと呼びます。バックキュー機能を使うと常に同じ位置から再生を開始することができます。バックキュー中はボタンが赤く点灯します。
- キューポイントが設定されたり変更になるのは次の通りです。
  - ポーズから再生を開始したとき
  - 新しいファイルを選択したとき
  - マニュアルサーチでキューポイントを設定したとき

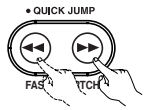
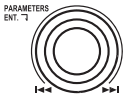
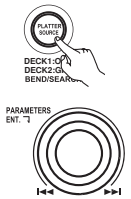
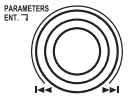
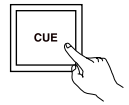
曲を選択する



- PARAMERTERSノブを回すかスクラッチディスクを回します。

キューポイントを移動させる

- ファイルの最初以外から再生を開始したい場合は、高速サーチ、スキャン、マニュアルサーチの機能を用いてキューポイントを移動させる必要があります。

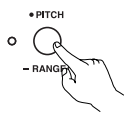
1-1	おおよその再生位置にはFAST SEARCH ボタンを用いて移動することができます。  **[QUICK JUMP]** • FAST SEARCHボタンを短く押すと、再生位置が約10秒間ジャンプします。ジャンプ時間は、10、20、30、60 秒からプリセットモードで選択することができます。 • “Quick Jump” プリセットアイテムに “Beat” を選択すると、操作” 1-2が実行されます。キーボードが接続されているとき、F10キーを押すことにより一時的にサーチ方法をQuick JumpかBeatに変更することができます。 **[FAST SEARCH]** • FAST SEARCHボタンを押し続けると、ファイル/トラック（ファイルとトラック）が高速サーチされます。
1-2	**“Quick Jump” プリセットアイテムに “Beat” を選択したときは、ジャンプ幅を選んでください。**  ① FAST SEARCHボタンを押すと、LCDにジャンプ幅が表示されます。 ② ジャンプ幅の調整は、PARAMETERSノブを用いて行ないます。PARAMETERSノブを回すとジャンプ幅が入力され、次にFAST SEARCHボタンを押すと、その設定値が適用されます。
2	SCRATCH ディスクをサーチモードにするには、PLATTER SOURCEボタンを押します。PLATTER SOURCEボタンが消灯します。 
3	キューポイントの変更は、PLATTER ディスクを回して行います。現在のキューポイントの短いサウンドが聞こえます。ポーズ、CUEまたはフレームリピートモード時にSCRATCHディスクを回すと、マニュアルサーチモードと同様に機能します。 
4	お好みのキューポイントが見つかったら、CUE ボタンを押します。これで、新しいキューポイントが設定されました 

ピッチの調整

- ピッチスライダーで再生スピード （ピッチ） を調整することができます。
- サウンドのキーを変えたくない場合は、キーアジャスト機能を使用します。

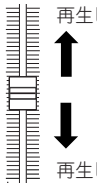
1

PITCHボタンを押すと、PITCHインジケーターが点灯します。



- PITCH ON ↔ OFF

2



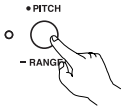
再生ピッチが遅くなる

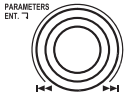
ピッチスライダーを上下させてピッチを調整します。現在のピッチ設定がディスプレイに表示されます。

再生ピッチが早くなる

3

DN-HS5500には、4%、10%、16%、24%、50%、および100%の6つのピッチレンジがあります。RANGEボタンを1秒以上押すと、ピッチレンジはPARAMETERSノブを用いて選ぶことができます。





- PARAMETERSノブを押すと、ピッチレンジが入力され、ピッチレンジ選択モードは解除されます。

4

キーアジャストモードをオンにする
KEY ADJUSTボタンを押すと、キーアジャストモードがオンになります。“KEY”が点灯します。

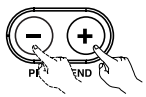
キーアジャストモードをオフにする
KEY ADJUST ボタンをもう一度押すと、キーアジャストモードはオフになります。“KEY”が消灯します。

再生スピードを（ピッチ）を一時的に変化させる

- ピッチベンド機能で、一時的に再生スピードを変えることができます。DN-HS5500はPITCH BENDボタン、プラッター/スクラッチディスクを用いた2種類のピッチベンド機能があります。

1

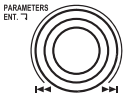
[PITCH BEND +/–ボタン]



- PITCH BEND +ボタンを押している間再生スピードを上げ、PITCH BEND –ボタンを押している間再生スピードを下げます。
- ボタンを離すと再生スピードはスライダーの設定に戻ります。

2

[プラッター/スクラッチディスク]



- PLATTER SOURCEボタンでプラッターディスクのモードをSEARCH/BENDに設定されているとき再生中にプラッター/スクラッチディスクを回すと再生スピードが変化します。

パワーオンプレイ

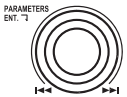
- 20プリセット（23）のPower On Playで“ON”に設定され、かつPlaylistが設定されているとき電源投入時に設定したPlaylistの先頭の曲から再生が始まります。

1

スタンバイまたはポーズ中にPresetボタンを1秒以上押してプリセットモードに切り替えます。

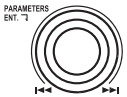
2

PARAMETERSノブを回して“Power On Play”を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。



3

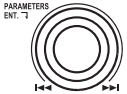
PARAMETERSノブを回して“ON”を選択し、PARAMETERSノブを押して決定します。



✻ここでPreset画面から抜けるとPlaylistが選択されていない状態になります。この状態では電源投入時にPower On Playにはなりません。

4

PARAMETERSノブを回して画面右側のPlaylistからリストを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



✻ここでPlaylistを設定せずにPreset画面から抜けると電源投入時にPower On Playにはなりません。

リレー再生

- リレー再生機能はDN-HS5500のDeck1とDeck2のファイルを続けて再生する機能です。

1

リレー再生を開始する

① RELAYボタンを1秒以上押し続けるとリレー再生モードになります。
リレー再生モードは以下のように設定されます。

- どちらか一方のDeckでリレー再生モードが選択されると、Deck1、Deck2共にリレー再生モードになります。
- リレー再生モード中は“SINGLE”、“CONT.”インジケーターが点滅します。
- SINGLE再生モードのとき、再生している側のDeckの曲が再生終了すると、もう一方のDeckで再生を開始します。
- CONT.再生モードのとき、再生している側のDeckの全曲を再生し終わると、もう一方のDeckで再生を開始します。
- Deck1、Deck2でファイル再生/プレイリスト再生が交互に再生できます。

✻Deck1とDeck2はオーバーラップ再生ができます。
オーバーラップする時間は20プリセット（4）Next File Cfadeで設定できます。

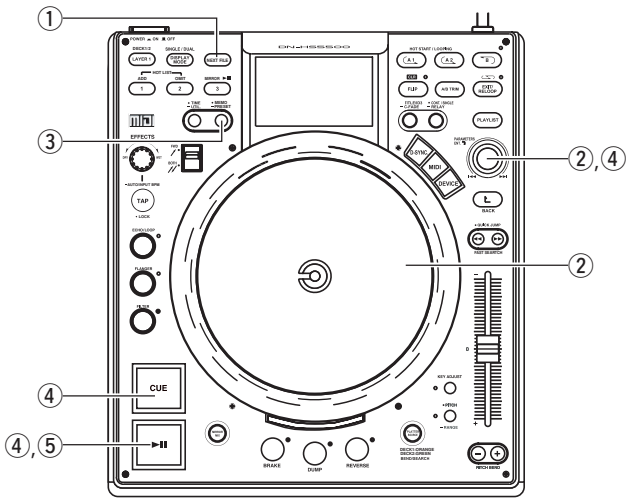
2

リレー再生をやめる

② リレー再生モード中にRELAYボタンを1秒以上押し続けるとリレー再生モードがオフになります。

8 ネクストファイル機能

• 曲の再生中に曲の再生を中断することなく次の曲を選択できる機能です。
*スムーズに次の曲に移行するためにクロスフェーダーも使うことが可能です。



1

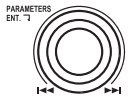
ネクストファイルモードをオンするには

NEXT FILE

① 再生中NEXT FILEボタンを押すとネクストファイルモードがオンします。
- このモードがオンするとCUEボタンが点滅します。
- ネクストファイルモードがオンしている間にもう一度ボタンを押すとネクストファイルモードがオフします。
- 同じデバイス上に存在するファイルのみネクストファイルモードで選択することができます。

2-1

曲を選ぶ



② PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して次に再生したい曲を選択します。

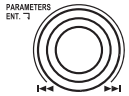
2-2

メモデータがある曲を選択する

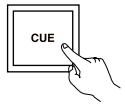
③ 選択した曲にメモデータがある場合
- メモデータがある曲を選択した場合“MEMO”インジケーターがナビ表示部に表示されます。
- このときMEMOボタンを押すとネクストファイルとして記憶されているメモデータのキューポイントが選択されます。
- PARAMETERSノブで他の曲を選ぶかMEMOボタンをもう一度押すと記憶されているメモデータのキューポイントはキャンセルされます。

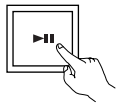
3

ファイルサーチスタート



④ ファイルを選択した後にPARAMETERSノブかCUEボタンを押すと再生を継続したまま選択した曲をサーチします。サーチが終了しスタンバイするとCUEボタンが点灯しPLAY/PAUSEボタン（►II）が点滅します。



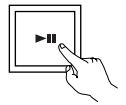


- CUEボタンが押された後のタイム表示は再生中の曲の再生可能な残り時間が表示されます。

ご注意：
現在再生中の曲の再生可能な残り時間は次の曲をサーチしてから最大10秒です。

4

ネクストファイル再生スタート

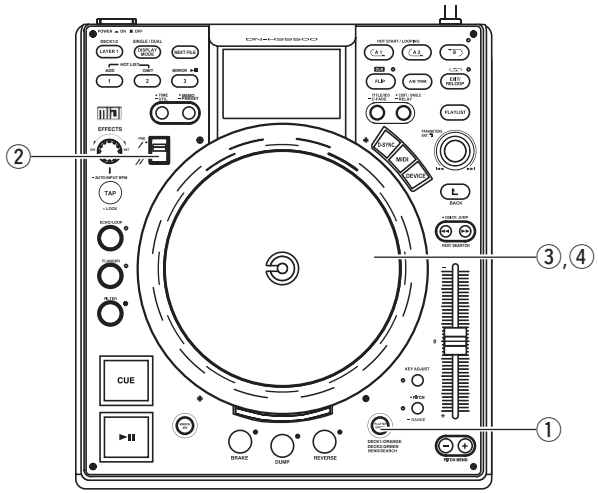


⑤ PLAY/PAUSEボタン（►II）を押すと再生を停止し次の曲の再生を開始します。

✻次の曲の再生開始時に現在再生中の曲をフェードアウトさせることができます。フェードアウトの時間は20プリセット（4）NEXT File CFadeで設定できます。
- 次の曲が再生可能状態になったときにPLAY/PAUSEボタン（►II）を押さない場合CONT.再生モード時は現在再生中の曲の再生が終わると次の曲の再生が始まります。SINGLE再生モードも同じ動作をします。

9 スクラッチ

• Deck1、Deck2およびスクラッチ再生方向（両方向、フォワード方向）が選択できます。

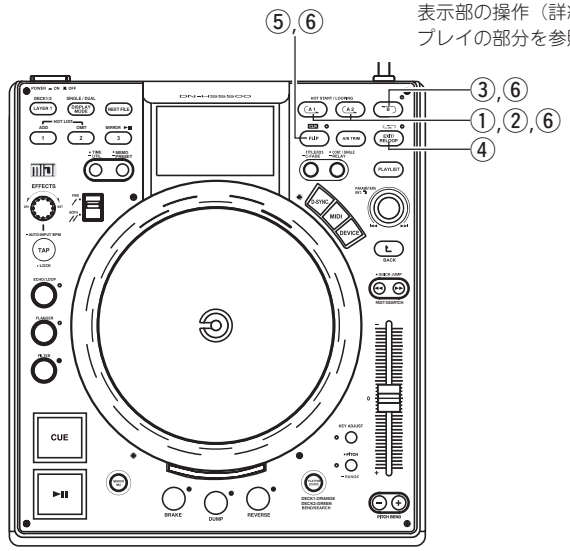


1	**プラッターのモードを設定する** ① PLATTER SOURCEボタンを押してプラッターのモードをスクラッチに設定します。Deck1を選択するとボタンがオレンジ色に点灯します。Deck2を選択するとボタンが緑に点灯します。
2	**スクラッチ再生する方向を選択する** ② スクラッチ再生方向選択レバーでスクラッチ再生方向を選択します。
3	**スクラッチ再生を開始する** ③ スクラッチディスクを回すとスクラッチ再生をおこないます。
4	**スクラッチ再生をやめる** ④ スクラッチディスクから手を離すとスクラッチ再生が終わり再生かポーズ状態になります。

10 シームレスループ/ホットスタート/スタッター

シームレスループ/ホットスタート/スタッター（A1、A2ボタン）

表示部の操作（詳細に関してはディスプレイの部分を参照してください。）



1	**Aポイントを設定する** ① A1またはA2ボタンを押すと押した位置にAポイントが設定されます。 • A1、A2ボタンはそれぞれホットスタートを分けて使用できます。 • Aポイントを設定するとA、“ ⌐ ”表示が点灯し、ホットスタートモードになります。 • BPMはホットスタートごとに独立して自動的に設定されます。
2	**ホットスタート再生を開始する** ② A1またはA2ボタンを押すと設定したAポイントからホットスタート再生が開始します。

3-1	**シームレスループを開始する** ③ Aポイント設定後またはホットスタート再生開始後Bボタンを押すと、Bポイントが設定されAポイントからシームレスループ再生を開始します。 • BポイントはBボタンを押す前のAポイントに対して設定されます。
3-2	• もしBボタンがシームレスループ中に押されたりシームレスループを抜けた後に押された場合はBボタンが押された位置にBポイントが移動します。 • Bポイントが設定されると“B”と“ ⌐ ”表示が点灯します。
4	**シームレスループ再生をおこなう** • A1-Bループ再生中、Bポイントを検知するとシームレスにA1ポイントに戻ります。 • A2-Bループ再生中、Bポイントを検知するとシームレスにA2ポイントに戻ります。A2-Bループ中はA1-BループのBポイントは無視されます。

5

ループから抜ける/ループに戻る

④ EXIT/LOOPボタンを押すとシームレスループから抜けたり、シームレスループへ戻ったりできます。

EXIT：
シームレスループ再生中、EXIT/LOOPボタンを押すとシームレスループから抜けられます。
DN-HS5500はシームレスループから抜けるとBポイント以降を再生し続けます。

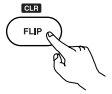
RELOOP：
シームレスループを抜けた後にEXIT/LOOPボタンを押すとシームレスループのAポイントから再生をおこないます。

6

スタッター再生をおこなう

- A1またはA2ボタンはスタッター再生をおこなうことも可能です。

⑤ FLIPボタンを押すと“ ”表示が消灯しスタッター再生が可能になります。
FLIPボタンを押すごとにホットスタート/シームレスループとスタッター再生が切り替わります。



7

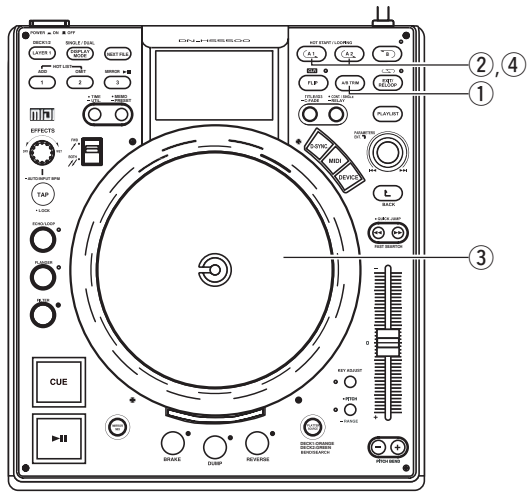
A1/A2ポイントを消去する

⑥ FLIPボタンを押しながらA1またはA2ボタンを押すとA1-BループまたはA2-Bループを消去します。
また、FLIPボタンを1秒以上押し続けるとA、B全てのポイントを一度に消去できます。
FLIPボタンを押しながらBボタンを押すと最後に再生したBポイントのみを消去できます。

- デバイスが変更されたり、プレイリスト再生モードでプレイリストが変更された場合は強制的にA1またはA2ポイントは消去されます。

11 A/Bトリム

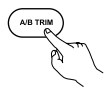
- シームレスループのAポイントおよびBポイントの位置をスクラッチディスクで微調整できます。
- ループ再生をおこないながら、再生音を聞きながら微調整することができます。



A/Bトリム

1

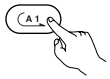
① シームレスループ中にA/B TRIMボタンを押すとA/B TRIM設定をおこないます。
A/B TRIM設定をキャンセルするにはA/B TRIMボタンをもう一度押してください。



2

AまたはBポイントを選択する

② A1またはA2ボタンを押すとAポイントが選択されBボタンを押すとBポイントが選択されます。

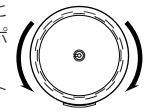


✻調整可能なループは現在再生されているループです。

3

AまたはBポイントをトリムする

③ スクラッチディスクを回すと1フレーム単位でAまたはBポイントを調整できます。



- AポイントおよびBポイントの調整範囲は次の通りです。

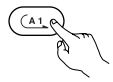
Aポイント：Aポイントの±30フレーム。ただしBポイントがある場合はBポイントの5フレーム前まで。

Bポイント：Aポイントの5フレーム後から曲の終わりまで。

4

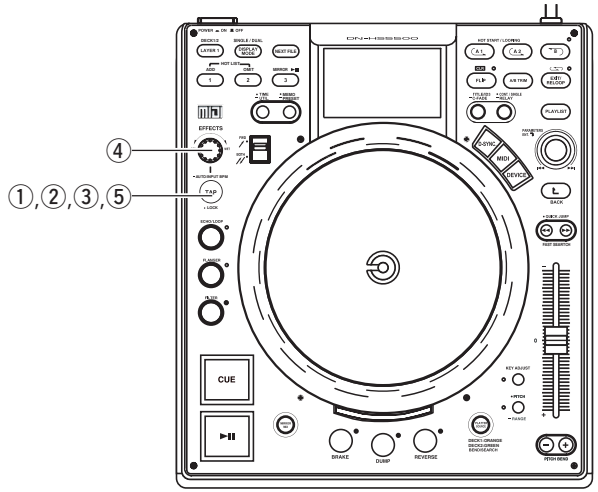
調整したポイントを確定する

④ 調整後にA1またははA2ボタンを押すとAまたはBポイントが確定されます。
確定されると自動的にA/Bトリムモードは終了します。



12 オートBPMカウンター、エフェクター

オートBPMカウンター



オートBPMカウンター

再生中またはCUEスタンバイ中の曲のBPMを自動計測して表示します。
計測されたBPM値はエフェクターのパラメーター、例えばエコー/ループやフランジャー時間に同期します。

- オートBPMカウンターがオフしているとき、TAPボタンを約1秒以上押しているとオートBPMカウンターがオンします。
- オートBPMカウンターがオフしているとき、曲がかわると、オートBPMカウンターがオンします。

ご注意：

- 曲によっては、BPMを正しく自動計測でいない場合があります。
  *このようなときは、TAPPINGかMANUAL INPUTをおこなってください。

1 BPM LOCK

オートBPMで計測したデータがロックされます。

① オートBPMカウンターがオンしているときにTAPボタンを短く1回押すと、“BPM LOCK”が1秒間表示されます。

2 TAPPING

TAPボタンを繰り返し押す間隔によりBPMが計測されます。

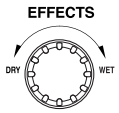
② TAPボタンを押すとオートBPMカウンターがオフします。
曲のビートに合わせてTAPボタンを5～10回繰り返し押してください。

3 MANUAL INPUT

既知のBPMを直接数値で入力できます。

③ TAPボタンを2秒以上押し続けるとBPMマニュアルインプットが可能になり、“Manual In”が表示されます。

④ EFFECTSノブを回して直接BPM値を入力します。



*EFFECTSノブを押しながら回すと小数点以下の値を入力できます。

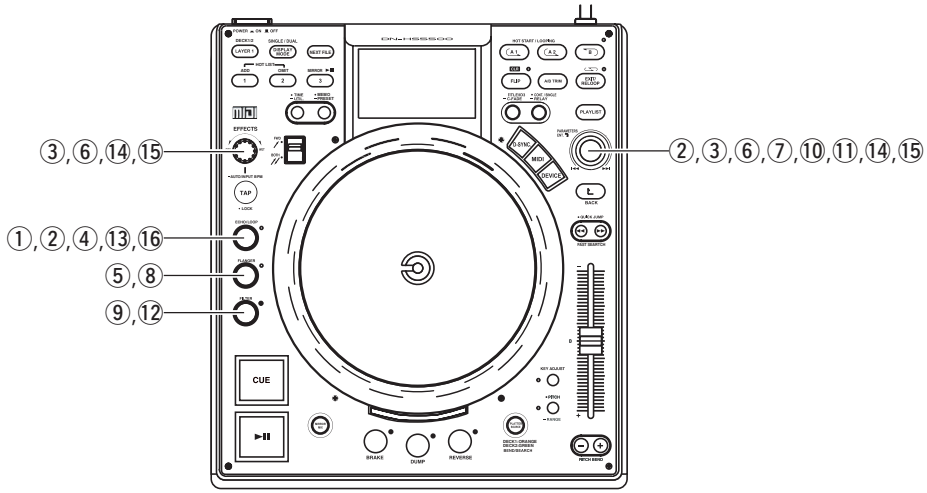
3 ⑤ TAPボタンをもう一度押すと入力した値を確定しBPM値がロックされます。

ご注意：

- MP3またはWAVファイルにメタデータBPM情報が含まれる場合この値を初期値として表示し、ロックアイコンが表示されます。
  この情報をより詳細な情報として、AUTO/TAP/MANUALによる値を無視することができます。

エフェクター

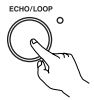
4種類の中から1つ選択できます。



ECHO/LOOP

1-1 ECHO/LOOP**をオンする**

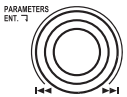
① ECHO/LOOPボタンを押すとECHO/LOOPがオンし、パラメーター設定画面を表示します。



*ECHO/LOOPがオンの状態（ボタンLEDが点灯）でECHO/LOOPボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面を表示します。

1-2 **エコー/ループのパラメーターを設定する**

② パラメーター設定中はECHO/LOOPボタンとPARAMETERSノブのLEDが点滅しエコー/ループのパラメーターをPARAMETERSノブとEFFECTSノブで設定できます。



Echo Feedback Level：EFFECTSノブで設定
Echo Deley Time：PARAMETERSノブで設定

1-3 ECHO/LOOP**再生をおこなうには**

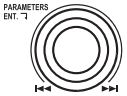
Feedback Levelを最大にすると、指定したDelay TimeでECHO LOOP再生を開始します。再生中は曲の検索、ファイル再生モード、プレイリスト再生モードを切り替えることができます

ECHO/LOOP**フェードアウト**

- パラメーター選択モードでECHO/LOOP中にバックキューまたはネクストファイルモードをオンにするとパラメーター選択モードがオフします。
- 新しい曲を選択して再生を始めるとECHO/LOOP再生がフェードアウトして停止します。ECHO/LOOP再生と通常再生はスムーズに切り替えることができます。

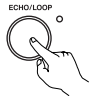
1-4 **パラメーター設定画面を終了する**

③ PARAMETERSノブを押すとパラメーター設定画面は終了します。



1-5 **エコー/ループをオフする**

④ ECHO/LOOPボタンを押すとエコー/ループパラメーター設定画画面が表示されます。この状態でもう一度ECHO/LOOPボタンを押すとエコー/ループがオフします。



FLANGER

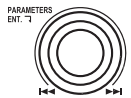
2-1 **フランジャーをオンする**

⑤ FLANGERボタンを押すとフランジャーがオンし、パラメーター設定画面を表示します。

✻フランジャーがオンの状態（ボタンLEDが点灯）でFLANGERボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面を表示します。

2-2 **フランジャーのパラメーターを設定する**

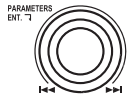
⑥ パラメーター設定中は“FLANGER”と“PARAMETERS”のLEDが点滅しFLANGERボタンのパラメーターをPARAMETERSノブとEFFECTSノブで設定できます。



FLANGER Depth：EFFECTSノブで設定
FLANGER Deley Time：PARAMETERSノブで設定

2-3 **パラメーター設定画面を終了する**

⑦ PARAMETERSノブを押すとパラメーター設定画面は終了します。



2-4 **FLANGERをオフする**

⑧ FLANGERボタンを押すとFLANGERパラメーター設定画面を表示します。この状態でもう一度FLANGERボタンを押すとFLANGERがオフします。

FILTER

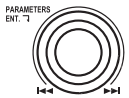
3-1 **フィルターをオンする**

⑨ FILTERボタンを押すとFILTERがオンし、パラメーター設定画面が表示されます。

*FILTERがオンの状態（ボタンLEDが点灯）でFILTERボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面が表示されます。

3-2 **フィルターのパラメーターを設定する**

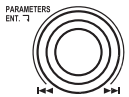
⑩ パラメーター選択モード中はFILTERボタンとPARAMETERSノブのLEDが点滅しフィルターのパラメーターをPARAMETERSノブとEFFECTSノブで設定できます。



Filter Band width：EFFECTSノブで設定
Filter types：PARAMETERSノブで設定

3-3 **パラメーター設定画面を終了する**

⑪ PARAMETERSノブを押すとパラメーター設定画面を終了します。



3-4 **FILTERをオフする**

⑫ FILTERボタンを押すとFLANGERパラメーター設定画面を表示します。この状態でもう一度FILTERボタンを押すとFILTERがオフします。

Tail ECHO

• 再生されている曲が停止するときにのみエコー再生をします。

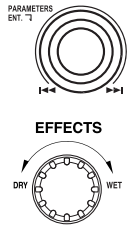
4-1 Tail Echo**をオンする**

⑬ ECHO/LOOPボタンを2秒以上押しつづけるとTail Echoがオンし、パラメーター設定画面が表示されます。

✻ Tail Echoがオンの状態でECHO/LOOPボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面が表示されます。

4-2 Tail Echo**のパラメーターを設定する**

⑭ パラメーター設定中はECHO/LOOPボタンとPARAMETERSノブのLEDが点滅しTail Echoのパラメーターを PARAMETERSノブとEFFECTSノブで設定できます。



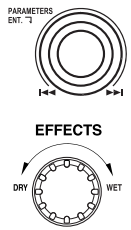
Echo Feedback Level：EFFECTSノブで設定
Echo Deley Time：PARAMETERSノブで設定

4-3 **テイルエコーループ再生**

テイルエコーモードがONのとき、再生中にPLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すとテイルエコー再生になります。テイルエコー再生中に再度PLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すとテイルエコー再生はキャンセルされ、通常の再生になります。

4-4 **パラメーター設定画面を終了する**

⑮ PARAMETERSノブまたはEFFFECTSノブを押すとパラメーター設定画面を終了します。

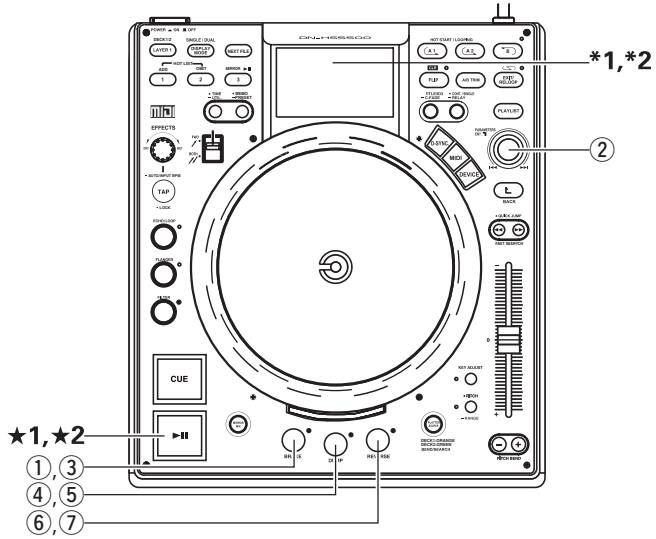


4-5 Tail Echo**をオフする**

⑯ ECHO/LOOPボタンを押すとTail Echoのパラメーター設定画面が表示されます。この状態でもう一度ECHO/LOOPボタンを押すとTail Echoがオフします。

また、Tail Echoがオンしているときにに ECHO/LOOPボタンを2秒以上押しつづけても Tail EchoがOFFします。

13 プラッターエフェクト



BRAKE

1-1

ブレーキ
ターンテーブルが再生状態からゆっくり再生を停止する状態をシミュレートします。

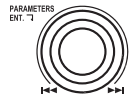
ブレーキモードをオンする

① BRAKEボタンを押すとブレーキモードがオンします。

1-2

ブレーキ動作時間を選択する
ブレーキモードがオンするとPARAMETERSノブとBRAKEボタンのLEDが3秒間点滅し、ブレーキ動作時間が表示されます。最初にBRAKEボタンを押した後やPARAMETERSノブで調整をおこなった後に3秒間なにも操作をしないときには、自動でブレーキ動作時間選択を終了します。

② ブレーキ動作時間はPARAMETERSノブで調整します。
- PARAMETERSノブを押すと動作時間が確定され動作時間選択モードを終了します。



***1** ブレーキ時間は再生位置表示部に表示されます。

1-3

ブレーキを動作させる
★1 再生中にPLAY/PAUSEボタン（►II）を押すとブレーキ動作をします。

1-4

ブレーキ動作を解除する
★2 ブレーキ動作をしている間にもう一度PLAY/PAUSEボタン（►II）を押すとブレーキ動作を解除します。

1-5

ブレーキモードをオフする
③ BRAKEボタンを押すとブレーキ動作選択モードになります。その状態でもう一度BRAKEボタンを押すとブレーキモードがオフします。

DUMP

2-1

ダンプ
リバース再生とフォワード通常再生を組み合わせたエフェクト再生をおこなうことができます。

ダンプ再生をおこなう
④ 再生中にDUMPボタンを押すとダンプ再生がオンしてダンプ再生が始まります。

2-2

ダンプ効果
- DUMPボタンを押すごとにダンプ再生と通常再生を切り替えます。
- ホットスタートやスタッター再生をおこなうとダンプ再生をオフします。

2-3

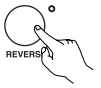
ダンプ再生をオフする
⑤ ダンプ再生がオンしているときにDUMPボタンを押すとダンプ再生をオフします。

＊ ダンプ効果の最大再生時間は5秒間です。5秒を過ぎると通常再生に戻ります。

REVERSE

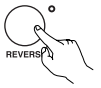
3-1

リバース再生をおこなう
⑥ 再生中にREVERSEボタンを押すとリバース機能がオンしてリバース再生が始まります。



3-2

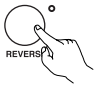
リバース効果
- REVERSEボタンを押すごとにリバース再生と通常再生を切り替えます。



***2** プレーポジションインジケーターはリバース再生中はオレンジ色に点灯します。
- ホットスタートやスタッター再生をおこなうとリバース再生をオフします。

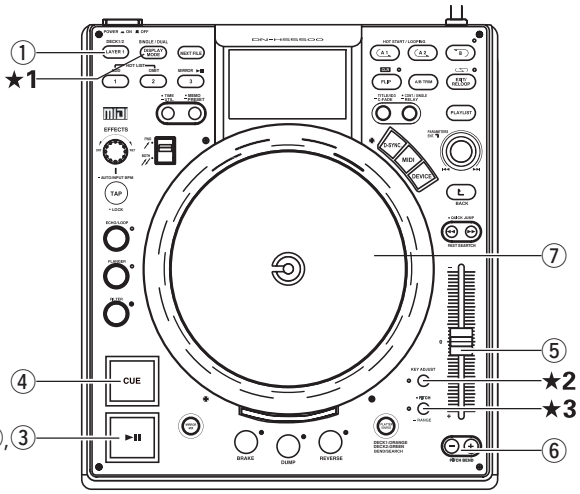
3-3

リバース再生をオフする
⑦ リバース機能がオンしているときにREVERSEボタンを押すとリバース再生をオフします。



14 2 Decks in 1

- 1つの機器で、2つのDeckを演奏することができます。
- 2つのDeckは、それぞれ別に再生スピード、再生レベルを設定できます。
- Deck1の再生出力はLINE OUT1から出力されます。Deck2の再生出力はLINE OUT2から出力されます。
- Deck2は、Deck1と同様、スクラッチ、シームレスループ再生が可能です。



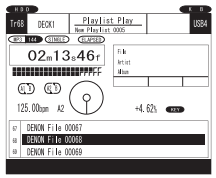
1-1

Deckを切り替える。

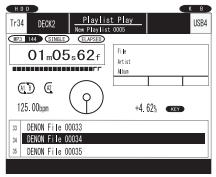
Deckを切り替えると、Deck1とDeck2の側のLEDが点灯します。

- **Single表示の場合：**
  Single表示の状態でメインとα表示で切り替わります。
- **Dual表示の場合：**
  画面は切り替わりません。

Deck1表示

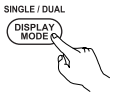


Deck2表示



1-2

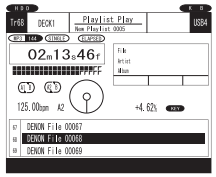
ディスプレイを切り替える。



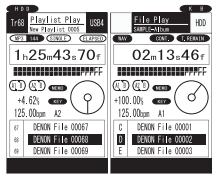
★1 DISPLAY MODEボタンを押すことによりSingle表示とDual表示を切り替えます。

- 操作可能なトラックは切り替わりません。

Single表示



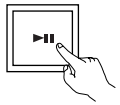
Dual表示



2

再生を開始する。

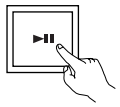
② PLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すと、再生を開始します。



3

再生を一時停止する。

③ 再生中にPLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すとその位置でポーズします。
再びPLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すとポーズした位置から再生を開始します。

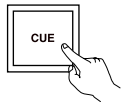


4

再生を停止する。（バックキュー）

④ ポーズ、再生中にCUEボタンを押すとαトラックのキューポイントにスタンバイします。

- スタンバイ中、CUEボタンを押すとスタッター再生をおこなうことができます。

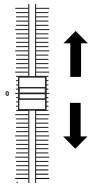


5

再生スピード（ピッチ）を調整する。

★2 PITCHボタンをおして PITCH ONにします。

⑤ スライダーを動かしてピッチを調整します。



ピッチレンジを選択する

★3 PITCHボタンを2秒間押し、RANGE調整画面からレンジ幅を選択します。

＊Deck1、deck2を切り替えたとき、スライダーと現在のピッチが異なるときはPitch Lock状態にセットされます。

6

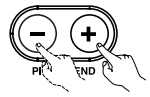
再生スピード（ピッチ）を一時的に変化させる。

- ピッチベンド機能で一時的に再生スピードを変えることができます。

【PITCH BEND +/−ボタン】

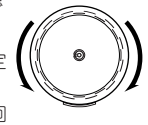
⑥ PITCH BEND +ボタンを押している間再生スピードを上げ、PITCH BEND −ボタンを押している間再生スピードを下げます。

- ボタンを離すと再生スピードはスライダーの設定に戻ります。



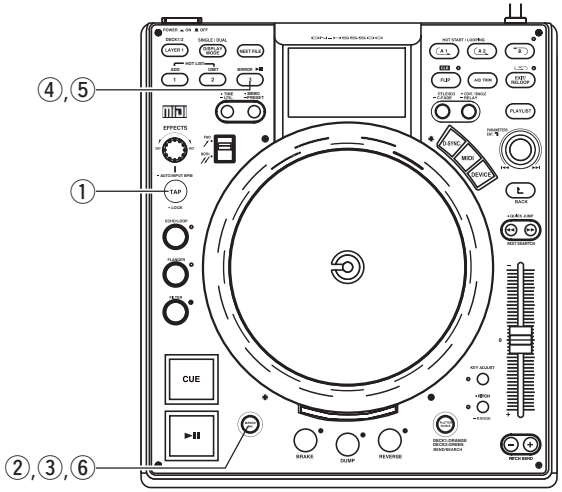
[プラッター/スクラッチディスク]

⑦ PLATTER SOURCEボタンでプラッターディスクのモードを“SEARCH/BEND”に設定さているとき再生中にプラッター/スクラッチディスクを回すと再生スピードが変化します。

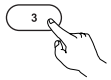
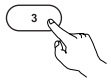


15 ミラーミックス

• ミラーミックスとはDeck1とDeck1を指定時間分（1/8、1/4、3/4、1/2、1/1、2/1、BPM）遅らせたDeck2再生をミックス再生するエフェクト機能です。



1	**BPMをセットする。** ① メイントラック再生中のBPMをオートBPM、TAPまたはBPM INPUTで設定します。
2	**ミラーミックスモードを選択する。** ② MIRROR MIXボタンを1秒以上押し続けるとミラーミックスモードになります。
3	**ミラーミックス再生のパラメーターを設定する。** ③ ミラーミックスモードのとき、PARAMETERSノブでDeck2の遅れ時間の設定が可能になります。 • 再度MIRROR MIXボタンを押すと、遅れ時間の設定モードがOFFします。

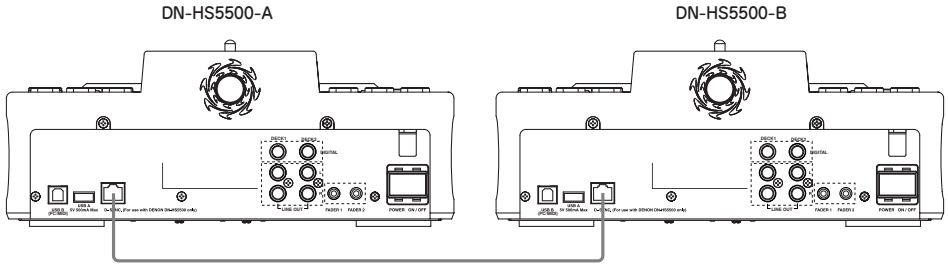
4	**ミラーミックス再生を開始する。** ④ Deck1停止中にファンクション3ボタンを押すと、ミラーミックス再生を開始します。 
5	**ミラーミックス再生を停止する。** ⑤ ミラーミックス再生中にファンクション3を押すと、ミラーミックス再生を一時停止します。 
6	**ミラーミックスモードをOFFする。** ⑥ MIRROR MIXボタンを1秒以上押し続けるとミラーミックスモードをOFFします。

16 D-SYNC機能について

DN-HS5500をクロスLANケーブル（3m以内）で2台接続したとき、他方に接続されているDeviceを使用するための機能です。
D-SYNCボタンを押すことで、クロスLANケーブルで接続されたもう一方の機器でD-SYNCボタンを押した機器のDeck2をコントロールすることが可能です。

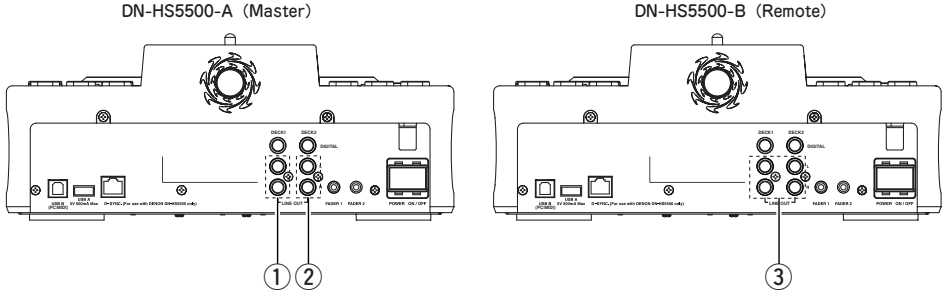
1. 接続

2台のDN-HS5500をクロスLANケーブルで接続します。



上記の接続でA機のD-SYNCボタンを押した場合、B機でA機のDeck2をコントロールすることが可能です。

• D-SYNCボタンを押した機器を“Master”、もう一方を“Remote”と呼びます。
（上記の場合はA機：Master B機：Remoteになります）
• 音声出力はMasterとなった機器から出力されます。Remoteとなった機器からは音声は出力されません。



上記接続状態の時
A機：MasterのDeck1 の音声出力（①）はA機：Masterで操作します。
A機：MasterのDeck2 の音声出力（②）はB機：Remoteで操作します。
B機：RemoteのDeck1の音声出力（③）はされません。
Master側のFADER1がMaster側の動作に対応します。
Master側のFADER2がRemote側の動作に対応します。

USBデバイスについて
D-SYNC中は、Remote側に接続されているUSBデバイスは使用できません。

2. D-SYNCモードに切り替えるには

- Masterになる機器のDeck1以外が停止中で、Masterになる機器の操作がDeck1を操作している場合のみ切り替え可能です。
- Remoteになる機器がUtility/PRESET/USB Deviceモードなどの場合は切り替えできません。

例1: A機、B機共にそれぞれの機器のDeck1を操作している場合

A機		B機		D-SYNC
DECK1	DECK2	DECK1	DECK2	
再生中	停止中	停止中	停止中	切り替え可能です。
停止中	停止中	停止中	停止中	切り替え可能です。

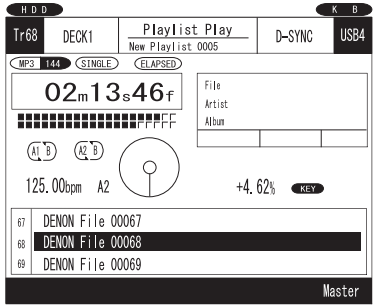
例2: A機が自身のDeck1を操作、B機が自身のDeck2を操作をしている場合

A機		B機		D-SYNC状態
DECK1	DECK2	DECK1	DECK2	
再生中	停止中	停止中	停止中	切り替え可能です。
停止中	停止中	停止中	停止中	切り替え可能です。

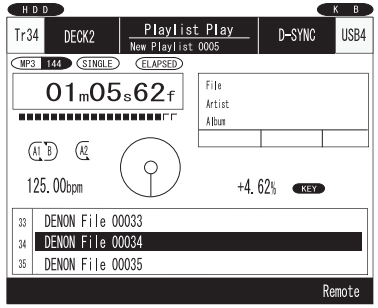
3. 表示

D-SYNC中は次のような表示になります。

Master側の表示



Remote側の表示



- Dual画面中にD-SYNCになった場合はSingle表示になります。
- D-SYNC状態では、DISPLAY MODEボタンでDual画面にはなりません。

4. D-SYNCモードを解除には

- Remote側が演奏停止中のとき、MasterまたはRemoteのD-SYNCボタンを押すとD-SYNCを解除します。

例:

Master	Remote	D-SYNC状態
再生中	停止中	解除します。
停止中	停止中	解除します。

5. D-SYNC状態での制限事項

- 操作Deckの切り替え
  D-SYNC状態では、Master/Remote共にLAYERボタンでDeckの切り替えはできません。
- デバイス選択
  Remote側の内蔵HDDと接続されている外部Deviceを選択できません。
- Utilityモード
  Master/Remote共に演奏停止中にMaster側のTIMEボタンを2秒間押し、切り替え可能です。
- PRESETモード
  Master/Remote共に演奏停止中にMaster側のMEMOボタンを2秒間押し、切り替え可能です。
- Mirror Mixモード
  Mirror Mixモードは切り替えできません。
- MEMO機能
  通常再生時と同じように設定/解除できます。

17 メモ機能（カスタムセッティングメモリー）

あらかじめお好みのホットスタートポイントやシームレスループのA、Bポイントなどをメモリーに記憶し、ライブなどでの短時間でのセッティングが必要な場合、データを呼び出して自動セッティングしてくれる機能です。

1. メモ機能について

記憶することができるデータは再生モードによって異なります。

① ファイル再生モードの場合

- メモデータはMP3/WAVファイル自体に記憶されます。いったんメモデータをファイルに記憶すれば、そのデータを呼びだすことができ、違うDN-HS5500でデータを記憶したファイルを再生する場合、データを使用することができます。
- 次のケースではメモは設定できません。

a) 別のDeckでメモ操作が実行されているとき
b) データベースのロード中
c) 両方のDeckで同じファイルを選択しているとき

メモ機能が設定されているデッキがメモ操作が可能であれば、他のデッキが再生中であってもメモ操作はできます。他のメモで同じトラックが選択されたり、ユーザーが同じトラックに変える操作をすると、メモ機能は動作しません。さらに、もう片方のデッキでメモ機能が実行されているトラックのサーチや再生をすると、サーチは取り消され再生は止まります。

- 記憶されるデータは次の通りです。

a) キューポイント
b) A1とB1ポイントおよびA2とB2ポイント
c) 再生スピード、ピッチ オン/オフ、キーアジャスト オン/オフの設定
d) BPMデータ（CUE、A1、A2）
ポイントデータは同じファイル内のデータに限ります。

- データがメモリーされているファイルを選択したとき、MEMOインジケーターが点灯します。

② プレイリスト再生モードの場合

- メモデータはプレイリスト内のファイル自体に記憶されます。従ってメモデータがメモリーされたプレイリストを持ち運び、違うDN-HS5500でデータを記憶したプレイリストを再生するとそのデータを呼び出して使うことができます。
- メモデータはプレイリストに登録されたファイルと同じ数だけ記憶できます。例えば、プレイリストに74ファイル登録されている場合、プレイリストには74個のメモデータを記憶できます。
- 記憶されるデータは次の通り。

a) CUEポイント
b) A1とB1ポイントおよびA2とB2ポイント
c) 再生スピード、ピッチ オン/オフ、キーアジャスト オン/オフの設定
d) BPMデータ（CUE、A1、A2）
A1、A2、B1およびB2ポイントはプレイリストに限り、プレイリスト内の違うファイルに存在することもあります。メモデータは従来のCDと同じような方法で使用することができます。

- データが記憶されているファイルを選択したとき、MEMOインジケーターが点灯します。

2. メモ設定をおこなうには

① CUEスタンバイ中にMEMOボタンを押すと、メモ設定になります。
② PARAMETERSノブを回して次の中からメモ機能を選択します。
Memo Set（デフォルト）、Memo Call、Memo Clr
状態によっては選択できない機能もあります。
③ メモ設定から抜けるにはMEMOボタンをもう一度押します。

(1)メモデータを記憶する【Memo Set】

- メモデータを作成した後にCUEボタンを押します。
- CUEスタンバイ中はMEMOインジケーターは表示されません。MEMOボタンを押すとMEMO setモードになり、“Memo Set？”が表示されます。
- MEMOインジケーターが表示されている場合、新しくデータを記憶するには古いデータをクリアすることが必要です。
- PARAMETERSノブを押すと記憶し始めます。完了すると“Complete”が表示されMEMOインジケーターが表示されます。
- メモモードが使えないときは、デバイスの残りの記憶容量を確認してください。残りの記憶容量が少ない場合はメモデータが記憶されない場合があります。

(2)メモデータを呼び出す【MEMO Call】

- メモデータが記憶されているファイルを呼び出すとき、MEMOインジケーターが最大約5秒周点滅します。
- メモデータを記憶したファイルを選択すると、MEMOインジケーターが点灯します。
- MEMOボタンを押すと、MEMO Callモードになり“Memo Call？”が表示されます。
- PARAMETERSノブを押すと、記憶したデータが呼び出されます。データの呼び出しが終了すると記憶されたCUEポイントでスタンバイ状態になります。
- メモデータから再生スピードが呼び出されると、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なるためにピッチロックされます。この場合PITCH LEDが点滅し、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なることをお知らせします。ピッチスライダーを動かし、ピッチ表意の値と同じ値を選択すると、PITCH LEDが点灯にかわりピッチロックが解除されます。

ご注意：
MP3のファイル状態によってはMEMO Callが完了されない場合があります。

(3)メモデータを消去する【Memo Clr】

- メモデータを記憶したファイルを選択します。
- MEMOボタンを押すとMemo clearモードになります。
- PARAMETERSノブを回して“Memo Clr”を表示させます。
- PARAMETERSノブを押すとメモデータが消去され、MEMOインジケーターも消灯します。

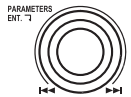
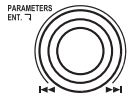
18 文字入力について

DN-HS5500では、プレイリスト名などを入力するのにPARAMETERSノブかキーボードを使って文字を入力することが可能です。

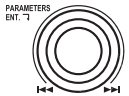
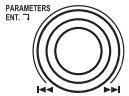
- PARAMETERSノブを使って入力する場合
  PARAMETERSノブを回したり押したりして文字を入力します。
- キーボードを使って入力する場合
  コンピューターのキーボードを操作する感覚で効率的に文字を入力することができます。
  ＊キーボードを接続すると、PARAMETERSノブを使っての文字入力はできなくなります。

■PARAMETERSノブを使った文字入力の仕方

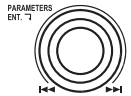
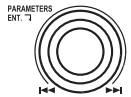
• 文字を入力する

1	入力する文字を選択します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して文字選択セクション内のカーソルを動かします。 入力したい文字にカーソルを合わせます。 
2	文字を入力します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを押します。手順1で選択された文字は入力した文字列の最後に追加されます。 

• 入力した文字を確定します

1	“ ↵ ”を選択します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して文字選択セクション内のカーソルを動かします。 “ ↵ ”にカーソルを合わせます。 
2	入力した文字列を確定します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを押します。入力した文字列が確定され、次の画面へ遷移します。 

• 入力した文字を消去する

1	“◀”（バックスペース）を選択します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回して文字選択セクション内のカーソルを動かします。 “◀”にカーソルを合わせます。 
2	文字を消去します。 PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを押します。文字列の最後の文字が消去されます。 

■キーボードを使った文字入力の仕方

1	文字を入力します。 キーボードから入力された文字は入力した文字列の最後に追加されます。
2	入力した文字を消去します。 “BACK SPACE”キーを使って入力した文字を消去します。
3	入力した文字を確定します。 “ENTER”キーを押すと入力した文字が確定され、次の画面へ遷移します。

ご注意：
- DN-HS5500で使用可能な文字は下の表の通りです。
  使用可能な文字は文字入力対象によって違います。

	ID3 Tag （ASCII/Unicode（UTF-8/UTF-16））	File Name/Playlist Name	ID3 Tag （Genre）
Alphabet	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
Numbers	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
Symbols	Space ! ” # $ % & ’ ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~	Space ! # $ % & ’ ( ) + , – . ; = @ [ ] ^ _ ` { } ~	Space & ( ) + _
ISO 8959-1	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ – ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ • , ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ò ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ – ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ • , ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ò ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ – ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ • , ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ò ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ

ご注意：
- Latin-1のキャラクターを使いながら、いくつかの検索をすることができます。
  プリセット時には“Region”に設定されていますので、必ず地域の設定をしてください。

19 ユーティリティー

DN-HS5500には以下に示すユーティリティーがあります。

- File Edit
  ハードディスクの中に記憶されているMP3/WAVファイルを削除できます。
  データベースから削除されたMP3/WAVファイルはハードディスクからも削除されますので注意してください。
- Playlist Edit
  プレイリストの作成・編集・削除をおこないます。

主な機能：

① **編集：** 記憶されているタイトルの編集をおこなったり、プレイリストから削除することができます。
② **作成：** プレイリストが作成できます。
③ **プレイリスト削除：** プレイリストを削除できます。MP3/WAVファイルはプレイリストを削除しても削除できません。

- Database Edit
  USBやハードディスク上にデータベースを作成します。
  これによりDN-HS5500でMP3/WAVファイルが検索できるようになります。
- Hotlist Edit
  Hotlist内の曲の削除をおこないます。
- Import/Export
  Presetの内容をDeviceにデータ保存したり、読み出したりします。
  Power On Playプレイリストを選択します。
- Initialization
  内蔵HDDをFormatします。
  また、プリセットの内容を両Deckとも工場出荷状態に戻します。
- Diagnostic
  外部デバイスのファイルアクセスにかかる時間を計測します。

ご注意: この機能を実行するとリストの内容が永久に削除されますので、注意して実施してください。

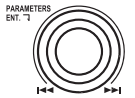
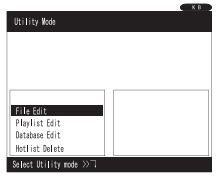
■ ユーティリティーモード

① スタンバイ中、PAUSE中またはファイルが選択されていないときにUTILボタンを1秒以上押し続けます。
  • 片方のデッキのうちどちらかが、デバイスに“CD”を選択している場合はユーティリティモードに入れません。
② PARAMETERSノブを使ってユーティリティーの項目を選択します。
③ ユーティリティモード中UTILボタンを押すとユーティリティーモードをオフします。

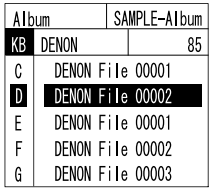
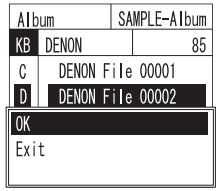
■ File Edit

内蔵ハードディスク内のMP3/WAVファイルを削除します。

• File Editモード

1	Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブ回して“File Edit”を選択します。PARAMETERSノブを押して決定します。	 
2	“File Edit” のリストが表示されます。	

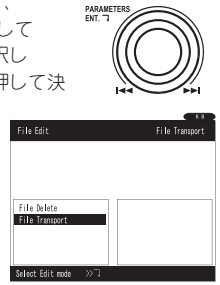
• MP3/WAV Fileを削除するには

1	File Editのリスト表示中、PRAMETERSノブを回して“Delete”を選択しPARAMETERSノブを押して決定します。
2	通常のファイルサーチ手順でDeleteするファイルを選択します。“検索手順”については11ページを参照してください。 
3	確認のためのPopupが表示されます。 ① **OK選択時：** ステップ2で設定されたﾀｲﾄﾙが削除され、ステップ1の画面に戻ります。 ② **Exit選択時：** Deleteをしないで Delete画面を抜けます。 

• MP3/WAV Fileを転送するには

1

File Editのリスト表示中、PRAMETERSノブを回して“File Transport”を選択しPARAMETERSノブを押して決定します。

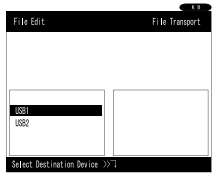


2

Transport先のDeviceを選択します。

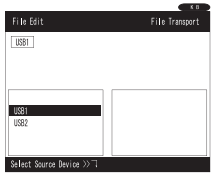
① 現在接続されているデバイスが画面の左側に表示されます。

② PARAMETERSノブまたはスクラッチディスクを回してプレイリストを作成するデバイスを選択します。PARAMETERSノブを押して決定します。



3

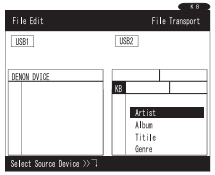
Transport元のDeviceを選択します。



4

Transportしたい曲を選択します。

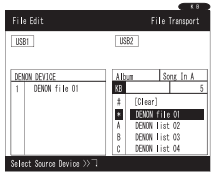
✻Transport元のDeviceがFull Databaseの場合のみ通常検索機能が可能です。
“検索手順”については11ページを参照してください。



5

曲を選択すると左側のリストにデータが追加されていきます。
一度に最大99曲まで追加可能です。

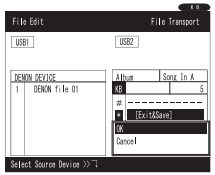
- **Save&Exit選択時：**
  手順6へ遷移します。
- **Clear選択時：**
  追加したファイルをクリアします。



6

“Save&Exit”を選択すると確認のためのPopupが表示されます。

- **OK選択時：**
  手順2で選択したデバイスに手順5で選択した曲を転送します。
- **Cancel選択時：**
  手順2で選択したデバイスに曲を転送しません。
  画面は手順5のときの表示に戻ります。



■Playlist Edit

プレイリストの作成・編集・削除をおこないます。

• Playlist Editモード

1

Utility Modeのトップメニュー表示でPARAMETERSノブを回して“Playlist Edit”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

2

“Playlist Edit”のリストが表示されます。

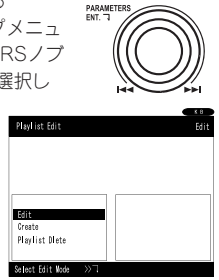
• プレイリストの編集と作成をおこなうには

1

プレイリストを編集する

① Playlist Editのトップメニュー表示中PARAMETRSノブを回して“Edit”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

② 新しくプレイリストを作成するモードになります。



プレイリストを作成する

① Utility Modeのトップメニュー表示でPARAMETRSノブを回して“Create”を選択しPARAMETERSノブを押して決定します。

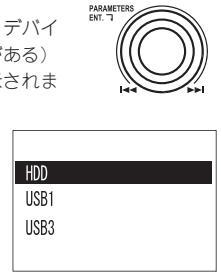
② 新しくプレイリストを作成するモードになります。

2

デバイスを選択する

① 現在接続されているデバイス（データベースがある）が画面の左側に表示されます。

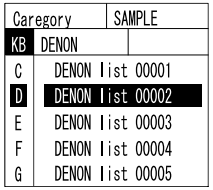
② PARAMETERSノブを回してプレイリストを作成するデバイスを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。
プレイリスト作成を選択した場合は手順4へ



3

プレイリスト作成
（“Edit”が選択された場合）

① プレイリストの検索画面が左側に表示されます。プレイリストを選んで編集します。
“プレイリスト検索”については12ページを参照してください。



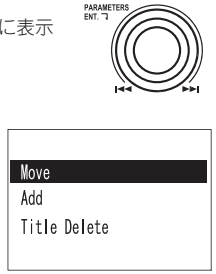
4

編集項目を選択します

① 編集項目が画面左側に表示されます。

② リスト表示でPARAMETERSノブを回して編集項目を選択します。

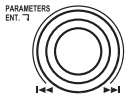
③ PARAMETERSノブを押して決定します。（②で選択した編集項目により次のように遷移します。）



- “Move”を選択：手順5へ
- “Add”を選択：12ページの“プレイリスト作成”を参照してください。
- “Title Delete”を選択：手順6へ

5

MOVE（タイトルの順番を並びかえる）



- MOVEをおこなうとプレイリストに記憶されたメモデータが失われますので注意してください。

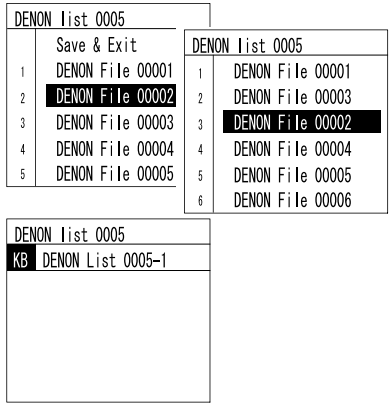
① プレイリストに登録されているタイトルのリストが画面左側に表示されます。

② タイトルのリスト表示中にPARAMETERSノブを回して移動するタイトルを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

③ 次にPARAMETERSノブを回して移動させたい位置を選択します。PARAMETERSノブを押して位置を決定します。選択した位置にタイトルが移動します。

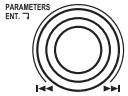
④ 他のタイトルを動かすには②、③の操作を繰り返します。

⑤ MOVEモードから抜けるにはPARAMETERSノブを回してリストの“Save&Exit”を選択します。“Playlist Name”“Category Name”入力画面が表示されます。必要に応じて文字を入力してください。
12ページの“プレイリスト作成”を参照してください。



6

Title Delete（タイトルを消去するには）



① プレイリストに登録されているタイトルのリストが画面左側に表示されます。ファイル検索画面が画面右側に表示されます。

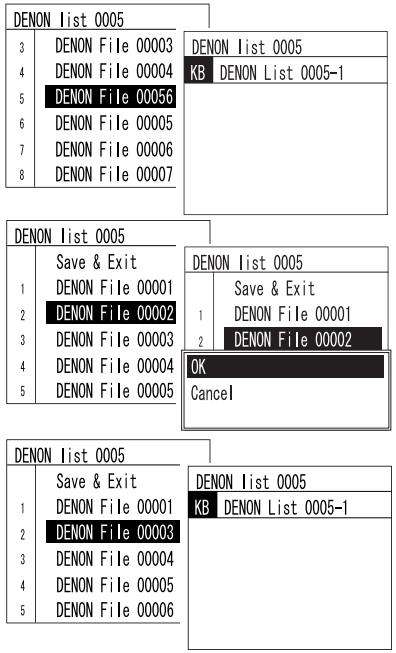
② PARAMETERSノブを回して削除したタイトルを選択します。
PARAMETERSノブを押すと決定します。

③ 画面左下に削除確認のポップアップ画面が表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
②で選択したタイトルを消去します。画面は①のときの表示に戻ります。
- **“Cancel”を選択した場合：**
②で選択したタイトルを消去しません。画面は①のときの表示に戻ります。

④ 他のタイトルを消去したい場合は②、③の操作を繰り返してください。

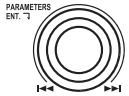
⑤ Title Deleteモードから抜けるにはPARAMETERSノブを回してリストの“Exit&Save”を選択します。“Playlist Name”“Category Name”入力画面が表示されます。必要に応じて文字を入力してください。
12ページの“プレイリスト作成”を参照してください。



• プレイリストを消去するには

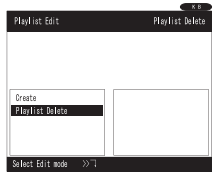
1

PlayList Delete



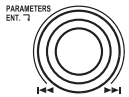
① Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Playlist Delete”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

② プレイリスト消去モードになります。



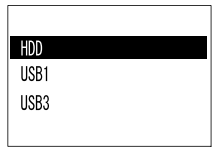
2

デバイスを選択する



① 現在接続されているデバイス（データベースがある）が画面の左側に表示されます。

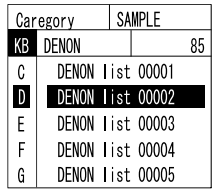
② PARAMETERSノブを回して消去したいプレイリストを選選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



3

プレイリストを消去する

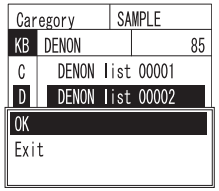
① 画面左側にプレイリスト検索画面が表示されるので消去したいプレイリストを選択します。
12ページの“プレイリスト検索”を参照してください。



4

画面左下に削除確認のためのPopupが表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
手順3で選択したプレイリストを消去します。画面は手順1のときの表示に戻ります。
- **“Exit”を選択した場合：**
手順3で選択したタイトルを消去しません。画面は手順1のときの表示に戻ります。



■ Database Edit

USB ハードディスク等にデータベースを作成します。それによりDN-HS5500でMP3/WAVファイルが検索できるようになります。

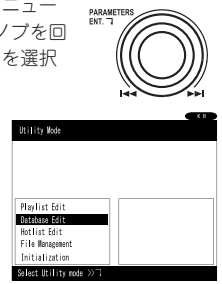
ご注意：

データベースを作成している間も、データベースを作成している以外のデバイスに記録されたMP3/WAVファイルを再生することができます。ただし、ファイル再生中のデータベースの作成には多少の時間がかかります。
さらに、デバイスにデータベースが作成された場合には、データベースはリセットされ、作成されたプレイリストは消去されます。

• Database Editモード

1

Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Database Edit”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



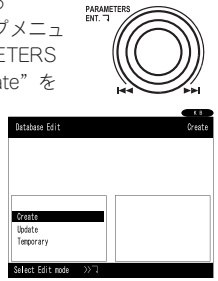
2

“Database Edit”の項目が表示されます。

• データベース作成

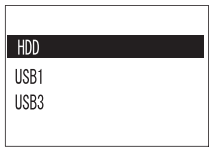
1

データベースを作成する
① Utility Modeのトップメニュー表示中、PARAMETERSノブを回して“Create”を選択します。
PARAMETRESノブを押して決定します。
② データベース作成モードになります。



2

デバイスを選択する
① 現在接続されているデバイス（データベースがある）が画面の左側に表示されます。
② PARAMETERSノブを回してデータベースを作成したいデバイスを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



ご注意：
すでにデータベースが存在するデバイスにもデータベースを作成することができます。ただし、新しくデータベースを作成するとプレイリストに記録されているポイントデータが消去されます。

3

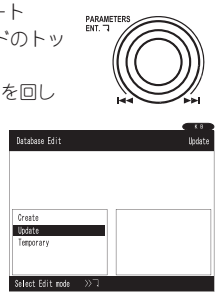
画面左下に作成確認のためのPopupが表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
手順2で選択したデバイスのデータベースを作成します。
プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。
MP3/WAVファイル再生中もデータベース作成中の表示が表示されます。
- **“Cancel”を選択した場合：**
手順2で選択したデバイスにデータベースを作成しません。画面は手順2のときの表示に戻ります。

• データベースアップデート

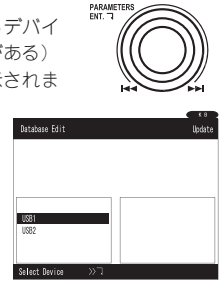
1

データベースアップデート
① Database Editモードのトップメニュー表示でPARAMETERSノブを回して“Update”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。
② アップデートモードになります。



2

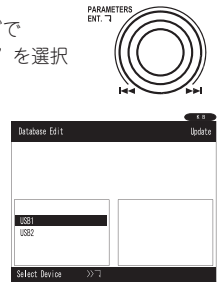
デバイスを選択する
① 現在接続されているデバイス（データベースがある）が画面の左側に表示されます。
② PARAMETERSノブを回してアップデートをしたいデータベースのデバイスを選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。



✻データベースがない場合は選択できません。

3

追加または消去を選ぶ
① PARAMETERSノブで“ADD”か“Delete”を選択します。



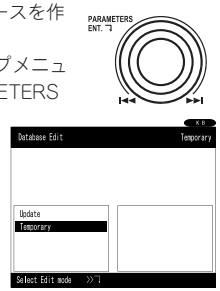
- **ADD：**
データベースに登録されていないファイルが存在する場合そのファイルをデータベースに登録します。
- **Delete：**
データベースに登録されているが実態がないファイルをデータベースから削除します。
- **“Cancel”を選択した場合：**
手順2で選択したデバイスのデータベースをアップデートせずに終了します。
画面は手順2のときの表示に戻ります。

• テンポラリーデータベースを作成する

テンポラリーデータベースをおこなうとファイルネームだけ検索できるようになります。
データベースの作成はフルで作成するより速く作成できます。
ID3 tagを使った検索はできません。
しかし、ストリングサーチは可能です。

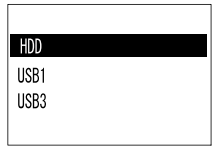
1

テンポラリーデータベースを作成する
① Utility Modeのトップメニュー表示中、PARAMETERSノブを回して“Temporary”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。
② テンポラリーデータベース作成モードになります。



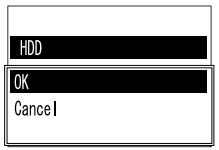
2

デバイスを選択する
① 現在接続されているデバイスが画面の左側に表示されます。
② PARAMETERSノブを回してテンポラリーをおこなうデータベースのデバイスを選択します。



3

画面左下に作成確認のためのPopup画面が表示されます。



① **“OK”を選択した場合：**
手順2で選択したデバイスのデータベースをテンポラリー作成します。
プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。
MP3/WAVファイル再生中もデータベース作成中の表示が表示されます。
② **“Cancel”を選択した場合：**
手順2で選択したデバイスにデータベースを作成しません。画面は手順2のときの表示に戻ります。

■ Hotlist Edit

Hotlistの削除をおこないます。

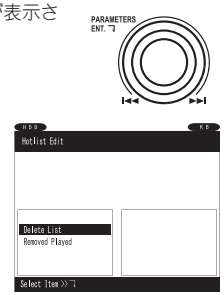
• Hotlist Editモード

1

Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Hotlist Edit”を選択します。
PARAMETERSノブを押して決定します。

2

“Hotlist Edit”の項目が表示されます。



• Delete List

1

Delete List

① Hotlist Editのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Delete List”を選択します。

② セットはDelete Listモードになります。

2

確認のためのPopupが表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
  Hotlistの全削除をおこないます。
  プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。
  完了すると手順1に戻ります。
- **“Cancel”を選択した場合：**
  Delete Listを実行せずに手順1に戻ります。

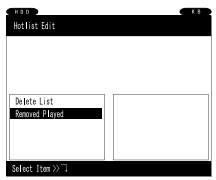
• Removed Played

1

Removed Played

① Hotlist Editのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Removed Played”を選択します。

② セットはRemoved Playedモードになります。



2

確認のためのPopupが表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
  Hotlist内の再生を終了した曲の削除をおこないます。
  プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。
  完了すると手順1に戻ります。
- **“Cancel”を選択した場合：**
  Removed Playedを実行せずに手順1に戻ります。

■ Import/Export

Presetの内容をDeviceにデータと保存したり、読み出したりします。

• Import/Exportモード

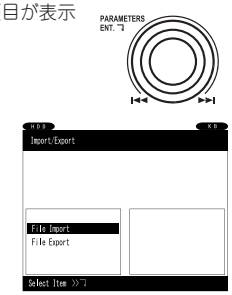
1

Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Import/Export”を選択します。

再度、ノブを押して決定します。

2

“Import/Export”の項目が表示されます。



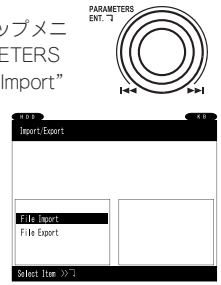
• File Import

1

File Import

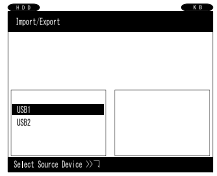
① Import/Exportのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“File Import”を選択します。
再度、ノブを押して決定します。

② セットはImportモードになります。



2

Import元のDeviceを選択します。



3

Deviceに存在するデータの一覧が表示されます。
データを選択すると確認のためのPopupが表示されます。

- **“OK”を選択した場合：**
  Importを実行します。
  プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。完了すると手順1に戻ります。
- **“Cancel”を選択した場合：**
  手順3のはじめに戻ります。

• File Export

1	File Export ① Import/Exportのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Export”を選択します。 再度、ノブを押して決定します。 ② セットはExportモードになります。
2	Export先のDeviceを選択します。

■ Initialization

内蔵HDDをFormatします。
また、Preset設定の内容を両Deckとも工場出荷状態に戻します。

• Iintializationモード

1	Utility Modeのトップメニュー表示中PARAMETERSノブを回して“Initialization”を選択します。 PARAMETERSノブを押して決定します。
2	“Initialization”の項目が表示されます。

• Format

1	フォーマット ① Initializationのトップメニュー表示でPARAMETERSノブを回して“Format”を選択します。 PARAMETERSノブを押して決定します。 ② セットはFormatモードになります。 *ご注意: この操作はハードディスクドライブの内容をすべて消去します。この操作をするときは十分注意して実施してください。 この操作をするとハードデバイス上のすべての内容を消します。

2	デバイスを選択する ① 現在接続されているデバイスが画面の左側に表示されます。 ② PARAMETERSノブを回してフォーマットしたいデバイスを選択します。 PARAMETERSノブを押して決定します。
3	画面左下に確認のためのPopupが表示されます。 • **“OK”を選択した場合：** フォーマットを開始します。 フォーマットが開始されるとプログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。 • **“Cancel”を選択した場合：** Formatをせずに手順1に戻ります。 フォーマット操作が開始されると、取り消しすることはできません。
4	Formatが終了するとUSB Deviceモードに切り替えるかの確認Popupが表示されます。 • **“USB Device Mode”を選択した場合：** PCと接続しているならUSB Device Modeに切り替わります。 PCと接続していないなら、メッセージを表示します。 • **“Cancel”を選択した場合：** Database Createをおこない、ステップ2の画面に戻ります。

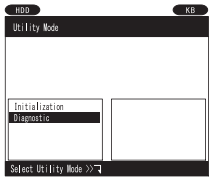
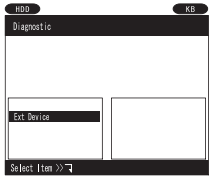
• Factory Default

1	工場出荷状態に戻す ① Initializationのトップメニュー表示中、PARAMETERSノブを回して“Factory Default”を選択します。 PARAMETERSノブを押して決定します。 ② セットはFactory Defaultモードになります。
2	画面左下に確認のためのPopupが表示されます。 • **“OK”を選択した場合：** Factory Defaultを実行します。 手順3に戻ります。 • **“Cancel”を選択した場合：** Factory Defaultせずに手順1に戻ります。
3	操作が実行されると、終了画面が表示されます。 • **操作が成功したとき:** “Complete”が表示されます。 • **操作が失敗したとき:** “Memory Error”が表示されます。

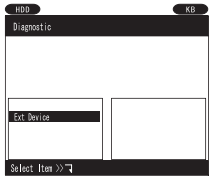
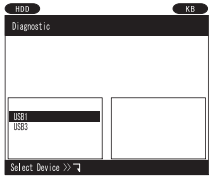
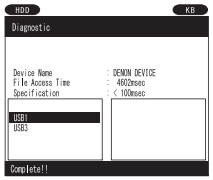
■診断

外部デバイスのファイルへのアクセスに要する時間を測定します。

•診断モード

1	ユーテイリティモードのトップメニューが表示されているときに、PARAMETERノブを回して“Diagnostic”を選択してください。PARAMETERSノブを押すとその選択が入力されます。 
2	“Diagnostic”アイテムが表示されます。 

•外部デバイス

1	“Diagnostic”アイテムが表示されます。 データベースのアップデート ① 診断モードのトップメニューが表示されているときに、PARAMETERノブまたはSCRATCHディスクを回して“Ext Device”を選択してください。 
2	デバイスの選択 ① 現在選択されているデバイスが画面の左側に表示されます。 ② PARAMETERSノブを回して計測したいデバイスを選択します。 PARAMETERSノブを押して決定します。 ✻デバイスにデータベースがない場合、そのデバイスは選択できません。 
3	終了すると、選択されたデバイスの結果が表示されます。 ✻診断結果が認識された値より大きいときは、使用を中断し他のモデルやブランドのものを試して見て下さい。 

20 プリセット

1. プリセットするには

① スタンバイまたはポーズ状態のとき、PRESETボタンを1秒以上押し続けると、プリセット設定画面が表示されます。
② PARAMETERSノブを回してプリセット項目を選択します。
③ 項目を選択したら、PARAMETERSノブを押してプリセット項目を変更します。
④ 次にPARAMETERSノブを回してプリセットデータを選択します。
⑤ データを選択したら、PARAMETERSノブを押してプリセットデータを変更します。
⑥ 複数のプリセットを設定する場合、②～⑤の操作を繰り返します。
⑦ PRESETボタン、CUEボタンまたは、PLAY/PAUSEボタン（▶II）を押すとプリセット設定を終了します。

2. プリセットできる項目およびデータ

“*”印は、工場出荷時のデフォルトデータになります。

（1） Cue Mode：DENON* / OTHER
DENON*：再生をプレイポーズモードから始めたとき、Cueポイントが設定されます。
OTHER（その他）：Cueボタンをプレイポーズモード中に押したときCueポイントが設定されます。

（2） Auto Cue：Auto Cue level OFF / −60dB / −54dB* / −48dB

（3） Cross fader Level：OFF / −60dB / −54dB* / −48dB

（4） Next File CFade：OFF / 1sec / 2sec / 3sec* / 4sec / 5sec
Next Fileで新たなファイルの再生を開始したとき、現在再生しているファイルのフェードアウト時間を選択します。

（5） 3/4EFFECT：OFF* / ON
エフェクターのエコーとフランジャーとミラーミックスのパラメーターを選択するとき、3/4ビート効果を使用することができます。

（6） Platter Speed：33rpm* / 45rpm
プラッターのスピードを選択します。

（7） Jump Time：10sec* / 20sec / 30sec / 1min
クイックジャンプのジャンプ時間を設定します。

（8） Quick Jump：Time* / Beat
クィックジャンプ機能が使用されているとき、ジャンプ幅がジャンプタイムで選択された時間か固定ビートにするかを選択してください。
電源投入時にどちらで起動するかを設定します。

（9） Pitch Range：±4% / ±10%* / ±16% / ±24%
電源投入時のピッチスライダーの再生スピードレンジを選択します。

（10） EOM（End Of Message）Time：OFF / 10sec* / 15sec / 20sec / 30sec / 60sec / 90sec
曲の終了までの残り時間を設定します。

（11） Fader Mode（FADER START MODE）：2LP/Cue* / 2LP/Pas / 1LP/Cue / 1LP/Pas
2線式（Play/Cue）、2線式（Play/Pause）、1線式（Play/Cue）、1線式（Play/Pause）を選択します。

（12） Pitch：Pitch ON* / Key AdjON（KEY ADJUST ON）/ Pitch OFF
電源投入時のピッチモードを選択します。

（13） Play Mode：Single / Cont. / Play Lock*（シングル再生）/（連続再生）/（シングル再生&プレイロック）
電源投入時の再生モードを選択します。

（14） Time Mode：Elapsed* / Remain
電源投入時の再生時間表示を選択します。

（15） TT Tricks：ON / OFF*
ブレーキ動作時にスクラッチをおこなったときのプラッターディスクの操作

（16） Audio Curve：ON* / OFF
OFFを選択するとSerato Scratch Liveのプログラムになります。
SeratoTMについての詳しい情報は“www.scrachlive.net”をご覧ください。

（17） Search Step：1step* / 2step
ファイルのサーチステップ数を選択します。

（18） Playback Mode：File* / Playlist
電源投入時の再生モードを選択します。

（19） File Search：Artist* / Album / Title / Genre / Year / BPM / File Name
電源投入時のサーチモードの設定を選択します。

（20） Playlist Search：Create* / Favorite / Top40 / Playlist Name / Category

（21） BPM Search Range：±0 / ±1 / ±3* / ±5 / ±10
BPMサーチで使用する検索の設定幅を選択します。

（22） Default Device：Internal / USB1* / USB2 / USB3 / USB4 / Last Device
電源投入時に使用するデバイスを選択します。

（23） Power On Play：ON / OFF*
電源を入れると、再生が開始されます。

（24） LCD Contrast：0～100（デフォルト：40）
LCDパネルのコントラストを設定します。

（25） LCD Dimmer：High* / Mid / OFF
LCDのディマーの設定を選択します。

（26） Region：USA* / Other
“DENON Music Manager”をインストールしているPCの地域設定と同じ仕向け地を選択してください。

（27） KB Type：ENGLISH（US）* / ENGLISH（UK）/ DEUTSCH / FRANCAIS / ITALIANO / ESPANOL / NEDERLANDS / SVENSKA / CHINESE / JAPANESE
使用するキーボードの言語タイプを選択します。

（28） MIDI CH Set：1&2* / 3&4 / 5&6
MIDIチャンネルを選択します。

（29） Unit No Set：1 to 14 / ALL*
機器のUnit番号を選択します。
例えばDN-HS5500を2台、PCに接続する場合、片方の機器をNo.1、もう片方をNo.2等に設定します。

（30） Version No：DN-HS5500のソフトウェアのバージョン情報を表示します。

（31） Preset Int：全てのプリセットデータを工場出荷状態に戻します。
① プリセットデータを初期化するにはPARAMETERSノブを押します。
“Preset Int?”が表示されます。
② PARAMETERSノブを押します。
イニシャル中は“Preset Initial!”が表示されます。
③ イニシャルが完了すると“Complete!”が表示されます。

21 互換性のファイル

ご注意:

- MP3のエンコードソフトの種類によってはファイルにノイズが入ったり、再生できないファイルになることがあります。
- 録音したものは、自身のために使用してください。著作権法により保護されている版権所有者の権利を侵害するため使用できません。

MP3/WAV FORMAT

MP3フォーマット	MPEG-1	Audio Laye-3 40-320 kbps, f/s 44.1 kHz, ステレオ
	ID-3 Tag	V1.0, V1.1, V2.2, V2.3, V2.4 (ASCII + ISO8859-1 (北欧))
	Encording	C.B.R, V.B.R
WAVフォーマット	PCM	16bit f/s 44.1kHz
	Metadata Tag	サポート
ご注意: ① .m3uと.xmlのプレイリストはDENON DJ MUSIC Managerのみでサポートされています。		

22 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

23 主な仕様

総合

形式:	MP3/WAVメディアプレーヤー&MIDIコントローラー
メディアタイプ:	オプションHDD（2.5インチ PATAタイプ 120GB以下） USBマスストレージディバイス（USB HDD、USBフラッシュメモリー）
外形寸法:	300（幅）×120（高さ）×334（奥行き）mm（フットを除く。）
質量:	5.9 kg
電源電圧:	AC100V ±10%、50/60 Hz
消費電力:	18W 20W（BU5001 ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞ搭載時） 12W（BU5003 CDﾄﾞﾗｲﾌﾞ搭載時）
動作温度:	5～35°C
動作温度:	25～85% （非凝結）
保存温度:	−5～60°C

オーディオ部

量子化:	16bitリニア/チャンネル
サンプリング周波数:	44.1kHz（通常再生時）
オーバーサンプリング:	32倍
全高調波ひずみ率:	0.05%以下（1kHz）
SN比:	100dB以上（Aカーブ）
チャンネルセパレーション:	100dB以上
周波数特性:	20Hz～22kHz
アナログ出力	
出力レベル:	2.0V r.m.s.
出力インピーダンス:	10kΩ以上
デジタル出力	
出力フォーマット:	IEC958-Type2
出力レベル:	0.5Vp-p 75Ω

機能

インスタントスタート:	20msec以内
バリアブルピッチ:	±4%（0.02%ピッチで変化）、±10%（0.05%ピッチで変化）、 ±16%（0.05%ピッチで変化） ±24%（0.1%ピッチで変化）、±50%（0.5%ピッチで変化）、 ±100%（1.0%ピッチで変化）
ピッチバンド:	ピッチ範囲 ±4%～±24%の時：±32% ピッチ範囲 ±50%～±100%の時：−99%～＋100%
フレームサーチ精度:	1/75秒 （1フレーム）
最大ファイル数:	50,000 ファイル/デバイス
最大プレイリスト数:	1,000 ファイル/デバイス
最大フォルダファイル数:	99/プレイリスト
最大フォルダ数:	5,000/デバイス
最大ファイル数:	1,000/フォルダ
最大ミュージックタイトル数:	50,000
最大アーティスト名数:	20,000
最大アルバムタイトル数:	10,000
最大ジャンル数:	500

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
* 本機を使用できるのは国内のみで、外国では使用できません。
* 本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源ｺﾝｾﾝﾄに差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー

国内営業本部 TEL：03-6731-5588

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間 9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://dm-pro.jp

後日のために記入しておいてください。	
購 入 店 名：	電話（ - - ）
ご購入年月日：	年 月 日